

## A. 医師として求められる基本的な資質・能力

### A-01. プロフェッショナリズム

#### A-01-01. 医の倫理と生命倫理

1. 医学・医療の歴史的な流れとその意味を概説できる。#A-01-01-na-01
2. 臨床倫理や生と死に関わる倫理的問題を概説できる。#A-01-01-na-02
3. ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、医師の職業倫理指針、医師憲章等医療の倫理に関する規範を概説できる。#A-01-01-na-03

#### A-01-02. 患者中心の視点

1. リスボン宣言等 に示された患者の基本的権利を説明できる。#A-01-02-na-01
2. 患者の自己決定権の意義を説明できる。#A-01-02-na-02
3. 選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。  
#A-01-02-na-03
4. インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。#A-01-02-na-04

#### A-01-03. 医師としての責務と裁量権

1. 診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。#A-01-03-na-01
2. 患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。#A-01-03-na-02
3. 医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。#A-01-03-na-03
4. 医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。#A-01-03-na-04
5. 医師の法的義務を列挙し、例示できる。#A-01-03-na-05

### A-02. 医学知識と問題対応能力

#### A-02-01. 課題探求・解決能力

1. 必要な課題を自ら発見できる。#A-02-01-na-01
2. 自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。#A-02-01-na-02
3. 課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。#A-02-01-na-03
4. 課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。#A-02-01-na-04
5. 適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。#A-02-01-na-05

## A-02-02. 学修の在り方

1. 講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。#A-02-02-na-01
2. 得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。#A-02-02-na-02
3. 実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。#A-02-02-na-03
4. 後輩等への適切な指導が実践できる。#A-02-02-na-04
5. 各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。#A-02-02-na-05

## A-03. 診療技能と患者ケア

### A-03-01. 全人的実践的能力

1. 病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴、システムレビュー等）を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。#A-03-01-na-01
2. 網羅的に系統立てて適切な順序で効率的な身体診察を行える。異常所見を認識・記録し、適切な鑑別診断が行える。#A-03-01-na-02
3. 基本的な臨床技能（適応、実施方法、合併症、注意点）を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。#A-03-01-na-03
4. 診療録（カルテ）についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録 (problem-oriented medical record) 形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。#A-03-01-na-04
5. 患者の病状（症状、身体所見、検査所見等）、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。#A-03-01-na-05
6. 緊急を要する病態や疾患・外傷の基本的知識を説明できる。診療チームの一員として救急医療に参画できる。#A-03-01-na-06
7. 慢性疾患や慢性疼痛の病態、経過、治療を説明できる。医療を提供する場や制度に応じて、診療チームの一員として慢性期医療に参画できる。#A-03-01-na-07
8. 患者の苦痛や不安感に配慮しながら、就学・就労、育児・介護等との両立支援を含め患者と家族に対して誠実に適切な支援を行える。#A-03-01-na-08

## A-04. コミュニケーション能力

### A-04-01. コミュニケーション

1. コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。#A-04-01-na-01
2. コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。#A-04-01-na-02
3. 患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。#A-04-01-na-03

#### A-04-02. 患者と医師の関係

1. 患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。#A-04-02-na-01
2. 患者に分かりやすい言葉で説明できる。#A-04-02-na-02
3. 患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。#A-04-02-na-03
4. 医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。#A-04-02-na-04
5. 患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。#A-04-02-na-05
6. 患者のプライバシーに配慮できる。#A-04-02-na-06
7. 患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。#A-04-02-na-07

#### A-05. チーム医療の実践

##### A-05-01. 患者中心のチーム医療

1. チーム医療の意義を説明できる。#A-05-01-na-01
2. 医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。#A-05-01-na-02
3. 自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。#A-05-01-na-03
4. 保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。#A-05-01-na-04

#### A-06. 医療の質と安全の管理

##### A-06-01. 安全性の確保

1. 実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。#A-06-01-na-01
2. 医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。#A-06-01-na-02
3. 医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。#A-06-01-na-03
4. 医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やっではないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。#A-06-01-na-04
5. 医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。#A-06-01-na-05
6. 医療機関における医療安全管理体制の在り方（事故報告書、インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者（リスクマネージャー）、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度、産科医療補償制度）を概説できる。#A-06-01-na-06
7. 医療関連感染症の原因及び回避する方法（院内感染対策委員会、院内感染サーベイランス、院内感染対策チーム（infection control team）、感染対策マニュアル等）を概説できる。#A-06-01-na-07
8. 真摯に疑義に応じることができる。#A-06-01-na-08

#### A-06-02. 医療上の事故等への対処と予防

1. 医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。#A-06-02-na-01
2. 医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。  
#A-06-02-na-02
3. 医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。#A-06-02-na-03
4. 基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセーフ・フールプルーフの考え方等）を概説し、指導医の指導の下に実践できる。#A-06-02-na-04

#### A-06-03. 医療従事者の健康と安全

1. 医療従事者の健康管理（予防接種を含む）の重要性を説明できる。#A-06-03-na-01
2. 標準予防策 (standard precautions) の必要性を説明し、実行できる。#A-06-03-na-02
3. 患者隔離の必要な場合を説明できる。#A-06-03-na-03
4. 針刺し事故（針刺し切創）等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。#A-06-03-na-04
5. 医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。#A-06-03-na-05

### A-07. 社会における医療の実践

#### A-07-01. 地域医療への貢献

1. 地域社会（離島・へき地を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。#A-07-01-na-01
2. 医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。#A-07-01-na-02
3. 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。#A-07-01-na-03
4. かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。#A-07-01-na-04
5. 地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。#A-07-01-na-05
6. 災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム (Disaster Medical Assistance Team)、災害派遣精神医療チーム (Disaster Psychiatric Assistance Team)、日本医師会災害医療チーム (Japan Medical Association Team)、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。#A-07-01-na-06
7. 地域医療に積極的に参加・貢献する。#A-07-01-na-07

#### A-07-02. 国際医療への貢献

1. 患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。#A-07-02-na-01
2. 地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。  
#A-07-02-na-02

3. 保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。#A-07-02-na-03
4. 日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。#A-07-02-na-04
5. 医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。#A-07-02-na-05

## A-08. 科学的探究

### A-08-01. 医学研究への志向の涵養

1. 研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。#A-08-01-na-01
2. 生命科学の講義・実習で得た知識を基に、診療で経験した病態の解析ができる。#A-08-01-na-02
3. 患者や疾患の分析を基に、教科書・論文等から最新の情報を検索・整理統合し、疾患の理解・診断・治療の深化につなげることができる。#A-08-01-na-03
4. 抽出した医学・医療情報から新たな仮説を設定し、解決に向けて科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。#A-08-01-na-04

## A-09. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

### A-09-01. 生涯学習への準備

1. 生涯学習の重要性を説明できる。#A-09-01-na-01
2. 生涯にわたる継続的学習に必要な情報を収集できる。#A-09-01-na-02
3. キャリア開発能力を獲得する。#A-09-01-na-03
4. キャリアステージにより求められる能力に異なるニーズがあることを理解する。#A-09-01-na-04
5. 臨床実習で経験したことを省察し、自己の課題を明確にする。#A-09-01-na-05

## B. 社会と医学・医療

### B-01. 集団に対する医療

#### B-01-01. 統計の基礎

1. データの記述と要約（記述統計を含む）ができる。#B-01-01-na-01
2. 主要な確率分布を説明できる。#B-01-01-na-02
3. 正規分布の母平均の信頼区間を計算できる。#B-01-01-na-03
4. 基本的な仮説検定の構造を説明できる。#B-01-01-na-04

#### B-01-02. 統計手法の適用

1. 2群間の平均値の差を検定できる（群間の対応のあり、なしを含む）。#B-01-02-na-01
2. パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違いを説明できる。#B-01-02-na-02
3. カイ2乗検定法を実施できる。#B-01-02-na-03
4. 一元配置分散分析を利用できる。#B-01-02-na-04

5. 2変量の散布図を描き、回帰と相関の違いを説明できる。#B-01-02-na-05
6. 線形重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析と交絡調整を概説できる。#B-01-02-na-06

#### B-01-03. 根拠に基づいた医療

1. 根拠に基づいた医療の5つのステップを列挙できる。#B-01-03-na-01
2. Patient, population, problem, intervention (exposure), comparison, outcome <PICO (PECO)>を用いた問題の定式化ができる。#B-01-03-na-02
3. 研究デザイン（観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス））を概説できる。  
#B-01-03-na-03
4. データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。#B-01-03-na-04
5. 得られた情報の批判的吟味ができる。#B-01-03-na-05
6. 診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。#B-01-03-na-06
7. 診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを説明できる。#B-01-03-na-07

#### B-01-04. 疫学と予防医学

1. 人口統計（人口静態と人口動態）、疾病・障害の分類・統計（国際疾病分類 (International Classification of Diseases) 等）を説明できる。#B-01-04-na-01
2. 平均寿命、健康寿命を説明できる。#B-01-04-na-02
3. 罹患率と発生割合の違いを説明できる。#B-01-04-na-03
4. 疫学とその応用（疫学の概念、疫学指標（リスク比、リスク差、オッズ比）とその比較（年齢調整率、標準化死亡比 (standardized mortality ratio) ）、バイアス、交絡）を説明できる。#B-01-04-na-04
5. 予防医学（一次、二次、三次予防）と健康保持増進（健康管理の概念・方法、健康診断・診査と事後指導）を概説できる。#B-01-04-na-05

#### B-01-05. 生活習慣とリスク

1. 基本概念（国民健康づくり運動、生活習慣病とリスクファクター、健康寿命の延伸と生活の質 (quality of life) 向上、行動変容、健康づくり支援のための環境整備等）を説明できる。#B-01-05-na-01
2. 栄養、食育、食生活を説明できる。#B-01-05-na-02
3. 身体活動、運動を説明できる。#B-01-05-na-03
4. 休養・心の健康（睡眠の質、不眠、ストレス対策、過重労働対策、自殺の予防）を説明できる。#B-01-05-na-04
5. 喫煙（状況、有害性、受動喫煙防止、禁煙支援）、飲酒（状況、有害性、アルコール依存症からの回復支援）を説明できる。#B-01-05-na-05
6. ライフステージに応じた健康管理と環境・生活習慣改善（環境レベル、知識レベル、行動レベルと行動変容）を説明できる。#B-01-05-na-06

#### B-01-06. 社会・環境と健康

1. 健康（健康の定義）、障害と疾病の概念と社会環境（機能障害、活動制限、参加制約、生活の質、ノーマライゼーション、バリアフリー、ユニバーサルデザイン等）を説明できる。#B-01-06-na-01
2. 社会構造（家族、コミュニティ、地域社会、国際化）と健康・疾病との関係（健康の社会的決定要因（social determinant of health））を概説できる。#B-01-06-na-02
3. 仕事と健康、環境と適応、生体環境系、病因と保健行動、環境基準と環境影響評価、公害と環境保全が健康と生活に与える影響を概説できる。#B-01-06-na-03
4. 各ライフステージの健康問題（母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健）を説明できる。  
#B-01-06-na-04
5. スポーツ医学を説明できる。#B-01-06-na-05

#### B-01-07. 地域医療・地域保健

1. 地域社会（へき地・離島を含む）における医療の状況、医師の偏在（地域、診療科及び臨床・非臨床）の現状を概説できる。#B-01-07-na-01
2. 医療計画（医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病診連携、病病連携、病院・診療所・薬局の連携等）及び地域医療構想を説明できる。#B-01-07-na-02
3. 地域包括ケアシステムの概念を理解し、地域における、保健（母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健）・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間（行政を含む）の連携の必要性を説明できる。#B-01-07-na-03
4. かかりつけ医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を獲得する。#B-01-07-na-04
5. 地域における救急医療、在宅医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。#B-01-07-na-05
6. 災害医療（災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム、災害派遣精神医療チーム、日本医師会災害医療チーム、災害拠点病院、トリアージ等）を説明できる。#B-01-07-na-06
7. 地域医療に積極的に参加・貢献する。#B-01-07-na-07

#### B-01-08. 保健・医療・福祉・介護の制度

1. 日本における社会保障制度と医療経済（国民医療費の収支と将来予測）を説明できる。#B-01-08-na-01
2. 医療保険、介護保険及び公費医療を説明できる。#B-01-08-na-02
3. 高齢者福祉と高齢者医療の特徴を説明できる。#B-01-08-na-03
4. 産業保健（労働基準法等の労働関連法規を含む）を概説できる。#B-01-08-na-04
5. 医療の質の確保（病院機能評価、国際標準化機構（International Organization for Standardization）、医療の質に関する評価指標、患者満足度、患者説明文書、同意書、同意撤回書、クリニカルパス等）を説明できる。#B-01-08-na-05
6. 医師法、医療法等の医療関連法規を概説できる。#B-01-08-na-06
7. 医療関連法規に定められた医師の義務を列挙できる。#B-01-08-na-07
8. 医療における費用対効果分析を説明できる。#B-01-08-na-08

9. 医療資源と医療サービスの価格形成を説明できる。診療報酬制度を説明でき、同制度に基づいた診療計画を立てることができる。#B-01-08-na-09
10. 医療従事者の資格免許、現状と業務範囲、職種間連携を説明できる。#B-01-08-na-10
11. 感染症法・食品衛生法の概要と届出義務を説明できる。#B-01-08-na-11
12. 予防接種の意義と現状を説明できる。#B-01-08-na-12
13. 障害者福祉・精神保健医療福祉の現状と制度を説明できる。#B-01-08-na-13

#### B-01-09. 国際保健

1. 世界の保健・医療問題（母子保健、感染症、非感染性疾患（non-communicable diseases）、UHC（Universal Health Coverage）、保健システム（医療制度）、保健関連 SDG（Sustainable Development Goals））を概説できる。#B-01-09-na-01
2. 国際保健・医療協力（国際連合（United Nations）、世界保健機関（World Health Organization）、国際労働機関（International Labour Organization）、国連合同エイズ計画（The Joint United Nations Programme on HIV/AIDS）、世界エイズ・結核・マラリア対策基金（The Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria）、GAVI アライアンス（The Global Alliance for Vaccines and Immunization）、国際協力機構（Japan International Cooperation Agency）、政府開発援助（Official Development Assistance）、非政府組織（Non-Governmental Organization））を列挙し、概説できる。  
#B-01-09-na-02

#### B-02. 法医学と関連法規

##### B-02-01. 死と法

1. 植物状態、脳死、心臓死及び脳死判定を説明できる。#B-02-01-na-01
2. 異状死・異状死体の取扱いと死体検案を説明できる。#B-02-01-na-02
3. 死亡診断書と死体検案書を作成できる。#B-02-01-na-03
4. 個人識別の方法を説明できる。#B-02-01-na-04
5. 病理解剖、法医学解剖（司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖）を説明できる。#B-02-01-na-05

##### B-02-02. 診療情報と諸証明書

1. 診療録（カルテ）に関する基本的な知識（診療録の管理と保存（電子カルテを含む）、診療録の内容、診療情報の開示、プライバシー保護、セキュリティー、問題志向型医療記録、主観的所見、客観的所見、評価、計画（subjective, objective, assessment, plan））を説明でき、実際に作成できる。#B-02-02-na-01
2. 診療に関する諸記録（処方箋、入院診療計画書、検査・画像・手術の記録、退院時要約）を説明できる。  
#B-02-02-na-02
3. 診断書、検案書、証明書（診断書、出生証明書、死産証書、死胎検案書、死亡診断書、死体検案書）を説明できる。#B-02-02-na-03
4. 電子化された診療情報の作成ができ、管理を説明できる。#B-02-02-na-04



## B-03. 医学研究と倫理

### B-03-01. 倫理規範と実践倫理

1. 医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。#B-03-01-na-01
2. 臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。#B-03-01-na-02
3. 臨床試験・治験と倫理性（ヘルシンキ宣言、第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ相試験、医薬品の臨床試験の実施の基準（Good Clinical Practice）、治験審査委員会・倫理審査委員会（institutional review board））を説明できる。#B-03-01-na-03
4. 薬物に関する法令を概説し、医薬品の適正使用に関する事項を列挙できる。#B-03-01-na-04
5. 副作用と有害事象の違い、報告の意義（医薬品・医療機器等安全性情報報告制度等）を説明できる。#B-03-01-na-05

## B-04. 医療に関連のある社会科学領域

### B-04-01. 医師に求められる社会性

1. 医療人類学や医療社会学等の行動科学・社会科学の基本的な視点・方法・理論を概説できる。#B-04-01-na-01
2. 病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。#B-04-01-na-02
3. 自身が所属する文化を相対化することができる。#B-04-01-na-03
4. 人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。#B-04-01-na-04
5. 人の言動の意味をその人の人生史や社会関係の文脈の中で説明することができる。#B-04-01-na-05
6. 文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。#B-04-01-na-06
7. 国際保健・医療協力の現場における文化的な摩擦について、文脈に応じた課題を設定して、解決案を提案できる。#B-04-01-na-07
8. 社会をシステムとして捉えることができる。#B-04-01-na-08
9. 病人役割を概説できる。#B-04-01-na-09
10. 対人サービスの困難（バーンアウトリスク）を概説できる。#B-04-01-na-10
11. 経済的側面や制度的側面をふまえた上で、医療現場の実践を評価できる。#B-04-01-na-11
12. 在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。#B-04-01-na-12
13. 多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解する。#B-04-01-na-13
14. 具体的な臨床事例に文化・社会的課題を見いだすことができる。#B-04-01-na-14

## C. 医学一般

### C-01. 生命現象の科学

#### C-01-01. 生命の最小単位-細胞

##### ■C-01-01-01. 細胞の構造と機能

1. 細胞の観察法を説明できる。#C-01-01-01-01
2. 細胞の全体像を図示できる。#C-01-01-01-02
3. 核とリボソームの構造と機能を説明できる。#C-01-01-01-03
4. 小胞体、ゴルジ体、リソソーム等の細胞内膜系の構造と機能を説明できる。#C-01-01-01-04
5. ミトコンドリア、葉緑体の構造と機能を説明できる。#C-01-01-01-05
6. 細胞骨格の種類とその構造と機能を概説できる。#C-01-01-01-06
7. 細胞膜の構造と機能、細胞同士の接着と結合様式を説明できる。#C-01-01-01-07
8. 原核細胞と真核細胞の特徴を説明できる。#C-01-01-01-08

##### ■C-01-01-02. ゲノム・染色体・遺伝子

1. Mendel の法則、ミトコンドリア遺伝、インプリンティング及び多因子遺伝を説明できる。#C-01-01-02-01
2. 遺伝型と表現型の関係を説明できる。#C-01-01-02-02
3. 染色体の構造を概説し、ゲノムと染色体及び遺伝子の構造と関係性、体細胞分裂及び減数分裂における染色体の挙動を説明できる。#C-01-01-02-03
4. デオキシリボ核酸 (deoxyribonucleic acid ) の複製と修復を概説できる。#C-01-01-02-04
5. デオキシリボ核酸からリボ核酸 (ribonucleic acid ) への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節（セントラルドグマ）を説明できる。#C-01-01-02-05
6. 染色体分析・DNA 配列決定を含むゲノム解析技術を概説できる。#C-01-01-02-06

#### C-01-02. 生物の進化

##### ■C-01-02-01. 生物の進化

1. 進化の基本的な考え方を説明できる。#C-01-02-01-01
2. 生物種とその系統関係を概説できる。#C-01-02-01-02
3. アミノ酸配列や塩基配列の比較による分子系統樹を概説できる。#C-01-02-01-03

## C-02. 個体の構成と機能

### C-02-01. 細胞の構成と機能

#### ■C-02-01-01. 細胞膜

1. 細胞内液・外液のイオン組成、浸透圧と静止 (膜) 電位を説明できる。#C-02-01-01-01
2. 膜のイオンチャネル、ポンプ、受容体と酵素の機能を概説できる。#C-02-01-01-02
3. 細胞膜を介する物質の能動・受動輸送過程を説明できる。#C-02-01-01-03
4. 細胞膜を介する分泌と吸収の過程を説明できる。#C-02-01-01-04

#### ■C-02-01-02. 細胞骨格と細胞運動

1. 細胞骨格を構成するタンパク質とその機能を概説できる。#C-02-01-02-01
2. アクチンフィラメント系による細胞運動を説明できる。#C-02-01-02-02
3. 細胞内輸送システムを説明できる。#C-02-01-02-03
4. 微小管の役割や機能を説明できる。#C-02-01-02-04

### C-02-02. 組織・各臓器の構成、機能と位置関係

#### ■C-02-02-01. 組織・各臓器の構造と機能

1. 上皮組織と腺の構造と機能を説明できる。#C-02-02-01-01
2. 支持組織を構成する細胞と細胞間質（線維成分と基質）を説明できる。#C-02-02-01-02
3. 血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。#C-02-02-01-03
4. 神経組織の微細構造を説明できる。#C-02-02-01-04
5. 筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。#C-02-02-01-05
6. 組織の再生の機序を説明できる。#C-02-02-01-06

#### ■C-02-02-02. 器官の位置関係

1. 位置関係を方向用語（上下、前後、内・外側、浅深、頭・尾側、背・腹側）で説明できる。#C-02-02-02-01

### C-02-03. 個体の調節機構とホメオスタシス

#### ■C-02-03-01. 情報伝達の基本

1. 情報伝達の種類と機能を説明できる。#C-02-03-01-01
2. 受容体による情報伝達の機序を説明できる。#C-02-03-01-02
3. 細胞内シグナル伝達過程を説明できる。#C-02-03-01-03

#### ■C-02-03-02. 神経による情報伝達の基礎

1. 活動電位の発生機構と伝導を説明できる。#C-02-03-02-01
2. シナプス（神経筋接合部を含む）の形態とシナプス伝達の機能（興奮性、抑制性）と可塑性を説明できる。#C-02-03-02-02
3. 軸索輸送、軸索の変性と再生を説明できる。#C-02-03-02-03
4. 刺激に対する感覚受容の種類と機序を説明できる。#C-02-03-02-04
5. 反射を説明できる。#C-02-03-02-05

#### ■C-02-03-03. 生体防御の機序

1. 生体の非特異的防御機構を説明できる。#C-02-03-03-01
2. 特異的防御機構である免疫系の役割を説明できる。#C-02-03-03-02
3. 体液性と細胞性免疫応答を説明できる。#C-02-03-03-03

#### ■C-02-03-04. ホメオスタシス

1. 生体の恒常性維持と適応を説明できる。#C-02-03-04-01
2. 恒常性維持のための調節機構（ネガティブフィードバック調節）を説明できる。#C-02-03-04-02
3. 生体機能や体内環境のリズム性変化を説明できる。#C-02-03-04-03
4. 生体の恒常性維持における常在菌・腸内細菌と宿主との相互作用の重要性を説明できる。#C-02-03-04-04
5. 運動生理学など、身体活動時の神経・骨格筋、循環器、代謝系の変化を説明できる。#C-02-03-04-05

#### C-02-04. 個体の発生

1. 配偶子の形成から出生に至る一連の経過と胚形成の全体像を説明できる。#C-02-04-na-01
2. 体節の形成と分化を説明できる。#C-02-04-na-02
3. 体幹と四肢の骨格と筋の形成過程を概説できる。#C-02-04-na-03
4. 消化・呼吸器系各器官の形成過程を概説できる。#C-02-04-na-04
5. 心血管系の形成過程を説明できる。#C-02-04-na-05
6. 泌尿生殖器系各器官の形成過程を概説できる。#C-02-04-na-06
7. 胚内体腔の形成過程を概説できる。#C-02-04-na-07
8. 鰓弓・鰓嚢の分化と頭・頸部と顔面・口腔の形成過程を概説できる。#C-02-04-na-08
9. 神経管の分化と脳、脊髄、視覚器、平衡聴覚器と自律神経系の形成過程を概説できる。#C-02-04-na-09

#### C-02-05. 生体物質の代謝

1. 酵素の機能と調節を説明できる。#C-02-05-na-01
2. 解糖の経路と調節機構を説明できる。#C-02-05-na-02

3. クエン酸回路を説明できる。#C-02-05-na-03
4. 電子伝達系と酸化的リン酸化を説明できる。#C-02-05-na-04
5. 糖新生の経路と調節機構を説明できる。#C-02-05-na-05
6. グリコーゲンの合成と分解の経路を説明できる。#C-02-05-na-06
7. 五炭糖リン酸回路の意義を説明できる。#C-02-05-na-07
8. 脂質の合成と分解を説明できる。#C-02-05-na-08
9. リポタンパクの構造と代謝を説明できる。#C-02-05-na-09
10. タンパク質の合成と分解を説明できる。#C-02-05-na-10
11. アミノ酸の異化と尿素合成の経路を概説できる。#C-02-05-na-11
12. ヘム・ポルフィリンの代謝を説明できる。#C-02-05-na-12
13. ヌクレオチドの合成・異化・再利用経路を説明できる。#C-02-05-na-13
14. 酸化ストレス（フリーラジカル、活性酸素）の発生と作用を説明できる。#C-02-05-na-14
15. ビタミン、微量元素の種類と作用を説明できる。#C-02-05-na-15
16. エネルギー代謝（エネルギーの定義、食品中のエネルギー値、エネルギー消費量、推定エネルギー必要量）を理解し、空腹（飢餓）時、食後（過食時）と運動時における代謝を説明できる。#C-02-05-na-16

## C-03. 個体の反応

### C-03-01. 生体と微生物

#### ■C-03-01-01. ウイルスの基本的性状と病原性

1. ウイルス粒子の構造を図示し、各部の機能を説明できる。#C-03-01-01-01
2. 構造と性状によりウイルスを分類できる。#C-03-01-01-02
3. デオキシリボ核酸ゲノムとリボ核酸ゲノムの複製・転写を一般化し、説明できる。#C-03-01-01-03
4. ウイルスの吸着、侵入、複製、成熟と放出の各過程を説明できる。#C-03-01-01-04
5. ウイルス感染細胞に起こる変化を説明できる。#C-03-01-01-05
6. ウイルス感染の種特異性、組織特異性と病原性を説明できる。#C-03-01-01-06
7. 主な感染様式的具体例を説明できる。#C-03-01-01-07

#### ■C-03-01-02. ウイルス感染に対する生体反応・予防

1. ウイルスに対する中和反応と細胞性免疫を説明できる。#C-03-01-02-01
2. ワクチンによるウイルス感染症予防の原理を説明できる。#C-03-01-02-02
3. ワクチンの種類と問題点を説明できる。#C-03-01-02-03

#### ■C-03-01-03. 各種のウイルスの特徴と病原性

1. 主なデオキシリボ核酸ウイルス（サイトメガロウイルス (cytomegalovirus)、Epstein-Barr ウイルス、アデノウイルス、パルボウイルス B19、ヒトヘルペスウイルス、B 型肝炎ウイルス、ヒトパピローマウ

ウイルス) が引き起こす疾患名を列挙できる。#C-03-01-03-01

2. 主なりボ核酸ウイルス (インフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、ムンプスウイルス、風疹ウイルス、ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、エコー (enteric cytopathic human orphan) ウイルス、ライノウイルス、A 型肝炎ウイルス、C 型肝炎ウイルス) が引き起こす疾患名を列挙できる。#C-03-01-03-02
3. レトロウイルス (ヒト免疫不全ウイルス (human immunodeficiency virus) ) の特性と一般ゲノム構造を説明し、分類できる。#C-03-01-03-03

#### ■C-03-01-04. 細菌・真菌

1. 細菌の構造を図示し、形態と染色性により分類できる。#C-03-01-04-01
2. 細菌の感染経路を分類し、説明できる。#C-03-01-04-02
3. 細菌が疾病を引き起こす機序を説明できる。#C-03-01-04-03
4. Gram 陽性球菌 (ブドウ球菌、連鎖球菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。  
#C-03-01-04-04
5. Gram 陰性球菌 (淋菌、髄膜炎菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。#C-03-01-04-05
6. Gram 陽性桿菌 (破傷風菌、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。#C-03-01-04-06
7. Gram 陰性桿菌 (大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、チフス菌、ペスト菌、コレラ菌、百日咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、ブルセラ菌、レジオネラ菌、インフルエンザ (桿) 菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。#C-03-01-04-07
8. Gram 陰性スピリルム属病原菌 (*Helicobacter pylori*) の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。#C-03-01-04-08
9. 抗酸菌 (結核菌、非結核性 (非定型) 抗酸菌) の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。  
#C-03-01-04-09
10. 真菌 (アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル (ムコール)) の微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。#C-03-01-04-10
11. スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。#C-03-01-04-11

#### ■C-03-01-05. 寄生虫

1. 原虫類・蠕虫類の分類及び形態学的特徴を説明できる。#C-03-01-05-01
2. 寄生虫の生活史、感染経路と感染疫学的意義を説明できる。#C-03-01-05-02
3. 寄生虫感染宿主の生体防御の特徴を説明できる。#C-03-01-05-03
4. 各臓器・器官の主な寄生虫症を説明できる。#C-03-01-05-04
5. 寄生虫症の診断、治療と予防の概要を説明できる。#C-03-01-05-05

## C-03-02. 免疫と生体防御

### ■C-03-02-01. 免疫系の一般特性

1. 生体防御機構における免疫系の特徴（特異性、多様性、寛容、記憶）を説明できる。#C-03-02-01-01
2. 免疫反応に関わる組織と細胞を説明できる。#C-03-02-01-02
3. 免疫学的自己の確立と破綻を説明できる。#C-03-02-01-03
4. 自然免疫と獲得免疫の違いを説明できる。#C-03-02-01-04

### ■C-03-02-02. 自己と非自己の識別に関与する分子とその役割

1. 主要組織適合遺伝子複合体 (major histocompatibility complex ) クラス I とクラス II の基本構造、抗原提示経路の違いを説明できる。#C-03-02-02-01
2. 免疫グロブリンと T 細胞抗原レセプターの構造と反応様式を説明できる。#C-03-02-02-02
3. 免疫グロブリンと T 細胞抗原レセプター遺伝子の構造と遺伝子再構成に基づき、多様性獲得の機構を説明できる。#C-03-02-02-03
4. 自己と非自己の識別機構の確立と免疫学的寛容を概説できる。#C-03-02-02-04

### ■C-03-02-03. 免疫反応の調節機構

1. 抗原レセプターからのシグナルを増強あるいは減弱する調節機構を概説できる。#C-03-02-03-01
2. 代表的なサイトカイン・ケモカインの特徴を説明できる。#C-03-02-03-02
3. ヘルパー T 細胞 (Th1 cell、Th2 cell、Th17 cell)、細胞傷害性 T 細胞 (cytotoxic T lymphocyte )、制御性 T 細胞 (regulatory T cell ) それぞれが担当する生体防御反応を説明できる。#C-03-02-03-03

### ■C-03-02-04. 疾患と免疫

1. ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴を説明できる。#C-03-02-04-01
2. 原発性免疫不全症と後天性免疫不全症候群を概説できる。#C-03-02-04-02
3. 免疫寛容の維持機構とその破綻による自己免疫疾患の発症を概説できる。#C-03-02-04-03
4. アレルギー発症の機序 (Coombs 分類) を概説できる。#C-03-02-04-04
5. 癌免疫に関わる細胞性機序を概説できる。#C-03-02-04-05

## C-03-03. 生体と薬物

### ■C-03-03-01. 薬理作用の基本

1. 薬物・毒物の濃度反応曲線を描き、その決定因子を説明できる。#C-03-03-01-01
2. 薬物の受容体結合と薬理作用との定量的関連性及び活性薬・拮抗薬と分子標的薬を説明できる。  
#C-03-03-01-02

3. 薬物・毒物の用量反応曲線を描き、有効量・中毒量・致死量の関係を説明できる。#C-03-03-01-03

#### ■C-03-03-02. 薬物の動態

1. 薬物・毒物の吸収、分布、代謝と排泄を説明できる。#C-03-03-02-01
2. 薬物の生体膜通過に影響する因子を説明できる。#C-03-03-02-02
3. 薬物投与方法（経口、舌下、皮膚、粘膜、直腸、注射、吸入、点眼、点鼻等）を列挙し、それぞれの薬物動態を説明できる。#C-03-03-02-03

#### ■C-03-03-03. 薬物の評価

1. 薬物の評価におけるプラセボ効果の意義を説明できる。#C-03-03-03-01

### C-04. 病因と病態

#### C-04-01. 遺伝的多様性と疾患

1. ゲノムの多様性に基づく個体の多様性を説明できる。#C-04-01-na-01
2. 単一遺伝子疾患の遺伝様式を説明し、代表的な疾患を列挙できる。#C-04-01-na-02
3. 染色体異常による疾患の中で主なものを挙げ、概説できる。#C-04-01-na-03
4. ミトコンドリア遺伝子の変異による疾患を挙げ、概説できる。#C-04-01-na-04
5. エピゲノムの機序及び関連する疾患を概説できる。#C-04-01-na-05
6. 多因子疾患における遺伝要因と環境要因の関係を概説できる。#C-04-01-na-06
7. 薬剤の有効性や安全性とゲノムの多様性との関係を概説できる。#C-04-01-na-07

#### C-04-02. 細胞傷害・変性と細胞死

1. 細胞傷害・変性と細胞死の多様性、病因と意義を説明できる。#C-04-02-na-01
2. 細胞傷害・変性と細胞死の細胞と組織の形態的变化の特徴を説明できる。#C-04-02-na-02
3. ネクロシスとアポトーシスの違いを説明できる。#C-04-02-na-03

#### C-04-03. 代謝障害

1. 糖代謝異常の病態を説明できる。#C-04-03-na-01
2. タンパク質・アミノ酸代謝異常の病態を説明できる。#C-04-03-na-02
3. 脂質代謝異常の病態を説明できる。#C-04-03-na-03
4. 核酸・ヌクレオチド代謝異常の病態を説明できる。#C-04-03-na-04
5. ビタミン、微量元素の代謝異常の病態を説明できる。#C-04-03-na-05
6. 肥満に起因する代謝障害の病態を説明できる。#C-04-03-na-06



#### C-04-04. 循環障害、臓器不全

1. 血行障害(阻血、虚血、充血、うっ血、出血)の違いとそれぞれの病因と病態を説明できる。#C-04-04-na-01
2. 梗塞(血栓、塞栓)の種類と病態を説明できる。#C-04-04-na-02
3. ショック(血流分布異常性ショック(アナフィラキシー、感染性(敗血症性)、神経原性)、循環血流量減少性ショック(出血性、体液喪失)、心原性ショック(心筋性、機械性、不整脈)、閉塞性ショック(心タンポナーデ、肺塞栓症、緊張性気胸))を説明できる。#C-04-04-na-03
4. 血圧異常(高血圧、低血圧)を説明できる。#C-04-04-na-04
5. 臓器不全(多臓器不全、多臓器障害(multiple organ dysfunction syndrome))を説明できる。#C-04-04-na-05

#### C-04-05. 炎症と創傷治癒

1. 炎症の定義を説明できる。#C-04-05-na-01
2. 炎症の分類、組織形態学的変化と経時的変化(局所的変化と全身的变化)を説明できる。#C-04-05-na-02
3. 感染症による炎症性変化を説明できる。#C-04-05-na-03
4. 創傷の治癒過程を概説できる。#C-04-05-na-04

#### C-04-06. 腫瘍

1. 自律性の増殖と、良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明できる。#C-04-06-na-01
2. 癌の原因や遺伝子変化を説明できる。#C-04-06-na-02
3. 腫瘍の分類、分化度、グレード、ステージを概説できる。#C-04-06-na-03
4. 用語(異形成、上皮内癌、進行癌、早期癌、異型性、多形性等)を説明できる。#C-04-06-na-04
5. 癌の診断と治療を概説できる。#C-04-06-na-05
6. 癌の転移を説明できる。#C-04-06-na-06

### C-05. 人の行動と心理

#### C-05-01. 人の行動

1. 行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係を概説できる。#C-05-01-na-01
2. 行動の脳内基礎過程を説明できる。#C-05-01-na-02
3. 行動と人の内的要因、社会・文化的環境との関係を概説できる。#C-05-01-na-03

#### C-05-02. 行動の成り立ち

1. 本能行動と学習行動(適応的な学習、適応的でない学習)を説明できる。#C-05-02-na-01
2. レスポンデント条件付け(事象と事象との関係の学習)とオペラント条件付け(反応と結果との関係の学習)を説明できる。#C-05-02-na-02
3. 社会的学習(モデリング、観察学習、模倣学習)を概説できる。#C-05-02-na-03

#### C-05-03. 動機付け

1. 生理的動機（個体保存、種族保存）、内発的動機（活動、感性、好奇、操作等）及び社会的動機（達成、親和、愛着、支配等）を概説できる。#C-05-03-na-01
2. 動機付けを例示できる。#C-05-03-na-02
3. 欲求とフラストレーション・葛藤との関連を概説できる。#C-05-03-na-03
4. 適応（防衛）機制を概説できる。#C-05-03-na-04

#### C-05-04. ストレス

1. 主なストレス学説を概説できる。#C-05-04-na-01
2. 人生、日常生活や仕事におけるストレスとその健康への影響を例示できる。#C-05-04-na-02
3. ストレスコーピング過程に関連する心理社会的要因を説明できる。#C-05-04-na-03
4. ストレス対処法を概説できる。#C-05-04-na-04

#### C-05-05. 生涯発達

1. こころの発達の原理を概説できる。#C-05-05-na-01
2. ライフサイクルの各段階におけるこころの発達と発達課題を概説できる。#C-05-05-na-02
3. こころの発達にかかわる遺伝的要因と環境的要因を概説できる。#C-05-05-na-03

#### C-05-06. 個人差

1. パーソナリティの類型と特性を概説できる。#C-05-06-na-01
2. パーソナリティの形成を概説できる。#C-05-06-na-02
3. 知能の発達と経年変化を概説できる。#C-05-06-na-03
4. 役割理論を概説できる。#C-05-06-na-04
5. ジェンダーの形成並びに性的指向及び性自認への配慮方法を説明できる。#C-05-06-na-05

#### C-05-07. 対人関係と対人コミュニケーション

1. 対人関係にかかわる心理的要因を概説できる。#C-05-07-na-01
2. 人間関係における欲求と行動の関係を概説できる。#C-05-07-na-02
3. 主な対人行動（援助、攻撃等）を概説できる。#C-05-07-na-03
4. 集団の中での人間関係（競争と協同、同調、服従と抵抗、リーダーシップ）を概説できる。#C-05-07-na-04
5. 効果的な対人コミュニケーションを説明できる。#C-05-07-na-05
6. 話し手と聞き手の役割を説明でき、適切なコミュニケーションスキルが使える。#C-05-07-na-06
7. 個と集団に及ぼす文化的影響を例示できる。#C-05-07-na-07
8. 文化・慣習によってコミュニケーションのあり方が異なることを例示できる。#C-05-07-na-08

#### C-05-08. 行動変容における理論と技法

1. 健康行動や行動変容を行う動機付けを概説できる。#C-05-08-na-01
2. 行動療法を説明できる。#C-05-08-na-02
3. 認知行動療法を説明できる。#C-05-08-na-03
4. 心理教育を説明できる。#C-05-08-na-04
5. 生活習慣病における患者支援（自律性支援）や保健指導を概説できる。#C-05-08-na-05

### D. 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療

#### D-01. 血液・造血器・リンパ系

##### D-01-01. 構造と機能

1. 骨髄の構造を説明できる。#D-01-01-na-01
2. 造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を説明できる。#D-01-01-na-02
3. 主な造血因子（エリスロポエチン、顆粒球コロニー刺激因子 (granulocyte-colony stimulating factor)、トロンボポエチン）を説明できる。#D-01-01-na-03
4. 脾臓、胸腺、リンパ節、扁桃と Peyer 板の構造と機能を説明できる。#D-01-01-na-04
5. 血漿タンパク質の種類と機能を説明できる。#D-01-01-na-05
6. 赤血球とヘモグロビンの構造と機能を説明できる。#D-01-01-na-06
7. 白血球の種類と機能を説明できる。#D-01-01-na-07
8. 血小板の機能と止血や凝固・線溶の機序を説明できる。#D-01-01-na-08

##### D-01-02. 診断と検査の基本

1. 末梢血の血球数の基準値とその変化の意義を説明できる。#D-01-02-na-01
2. 骨髄検査（骨髄穿刺、骨髄生検）を説明できる。#D-01-02-na-02
3. 血漿タンパク質の基準値とその変化の意義を説明できる。#D-01-02-na-03

##### D-01-03. 症候

1. 発熱 #D-01-03-na-01
2. 全身倦怠感 #D-01-03-na-02
3. 黄疸 #D-01-03-na-03
4. 貧血 #D-01-03-na-04
5. 出血傾向 #D-01-03-na-05
6. リンパ節腫脹 #D-01-03-na-06
7. 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤 #D-01-03-na-07

#### D-01-04. 疾患

##### ■D-01-04-01. 貧血

1. 貧血を分類し、鑑別に有用な検査を列挙できる。#D-01-04-01-01
2. 鉄欠乏性貧血、二次性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。#D-01-04-01-02
3. 再生不良性貧血・夜間発作性血色素尿症 (paroxysmal nocturnal hemoglobinuria ) の病因、病態、診断、治療と予後を説明できる。#D-01-04-01-03
4. 溶血性貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。#D-01-04-01-04
5. 巨赤芽球形貧血の病因、病態、診断と治療を説明できる。#D-01-04-01-05

##### ■D-01-04-02. 出血傾向・紫斑病その他

1. 出血傾向の病因、病態、症候と診断を説明できる。#D-01-04-02-01
2. 免疫性血小板減少性紫斑病 (immune thrombocytopenic purpura ) の病態、症候、診断と治療を説明できる。#D-01-04-02-02
3. 血友病の病態、症候、診断、治療と遺伝形式を説明できる。#D-01-04-02-03
4. 播種性血管内凝固 (disseminated intravascular coagulation ) の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。#D-01-04-02-04
5. 溶血性尿毒症症候群 (hemolytic-uremic syndrome ) の基礎疾患、病態、診断と治療を説明できる。#D-01-04-02-05
6. IgA 血管炎 (Schönlein-Henoch 紫斑病) を概説できる。#D-01-04-02-06
7. 血栓性血小板減少性紫斑病 (thrombotic thrombocytopenic purpura ) を概説できる。#D-01-04-02-07

##### ■D-01-04-03. 脾臓疾患

1. 脾腫をきたす疾患を列挙し、鑑別の要点を説明できる。#D-01-04-03-01

##### ■D-01-04-04. 腫瘍性疾患

1. 急性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。#D-01-04-04-01
2. 急性白血病の French-American-British 分類、WHO 分類を概説できる。#D-01-04-04-02
3. 慢性骨髄性白血病の病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。#D-01-04-04-03
4. 骨髄異形成症候群 (myelodysplastic syndromes ) の臨床像と病理所見を説明できる。#D-01-04-04-04
5. 成人 T 細胞白血病の病因、疫学、臨床所見、病理所見を説明できる。#D-01-04-04-05
6. 小児白血病と成人白血病の違いを説明できる。#D-01-04-04-06
7. 真性赤血球増加症・本態性血小板血症、骨髄線維症の病因、病態、診断と治療を説明できる。#D-01-04-04-07
8. 悪性リンパ腫の分類を概説し、病態、症候、病理所見、治療と予後を説明できる。#D-01-04-04-08

9. 多発性骨髄腫の病態、症候、診断、治療と予後を説明できる。#D-01-04-04-09

## D-02. 神経系

### D-02-01. 構造と機能

#### ■D-02-01-01. 神経系の一般特性

1. 中枢神経系と末梢神経系の構成を概説できる。#D-02-01-01-01
2. 脳の血管支配と血液脳関門を説明できる。#D-02-01-01-02
3. 脳のエネルギー代謝の特徴を説明できる。#D-02-01-01-03
4. 主な脳内神経伝達物質（アセチルコリン、ドパミン、ノルアドレナリン）とその作用を説明できる。  
#D-02-01-01-04
5. 髄膜・脳室系の構造と脳脊髄液の産生と循環を説明できる。#D-02-01-01-05

#### ■D-02-01-02. 脊髄と脊髄神経

1. 脊髄の構造、機能局在と伝導路を説明できる。#D-02-01-02-01
2. 脊髄反射（伸張反射、屈筋反射）と筋の相反神経支配を説明できる。#D-02-01-02-02
3. 脊髄神経と神経叢（頸神経叢、腕神経叢、腰神経叢、仙骨神経叢）の構成及び主な骨格筋支配と皮膚分布（デルマトーム）を概説できる。#D-02-01-02-03

#### ■D-02-01-03. 脳幹と脳神経

1. 脳幹の構造と伝導路を説明できる。#D-02-01-03-01
2. 脳神経の名称、核の局在、走行・分布と機能を概説できる。#D-02-01-03-02
3. 脳幹の機能を概説できる。#D-02-01-03-03

#### ■D-02-01-04. 大脳と高次機能

1. 大脳の構造を説明できる。#D-02-01-04-01
2. 大脳皮質の機能局在（運動野・感覚野・言語野）を説明できる。#D-02-01-04-02
3. 記憶、学習の機序を辺縁系の構成と関連させて概説できる。#D-02-01-04-03

#### ■D-02-01-05. 運動系

1. 随意運動の発現機構を錐体路を中心として概説できる。#D-02-01-05-01
2. 小脳の構造と機能を概説できる。#D-02-01-05-02
3. 大脳基底核（線条体、淡蒼球、黒質）の線維結合と機能を概説できる。#D-02-01-05-03

#### ■D-02-01-06. 感覚系

1. 痛覚、温度覚、触覚と深部感覚の受容機序と伝導路を説明できる。#D-02-01-06-01
2. 視覚、聴覚・平衡覚、嗅覚、味覚の受容機序と伝導路を概説できる。#D-02-01-06-02

#### ■D-02-01-07. 自律機能と本能行動

1. 交感神経系と副交感神経系の中枢内局在、末梢分布、機能と伝達物質を概説できる。#D-02-01-07-01
2. 視床下部の構造と機能を内分泌及び自律機能と関連付けて概説できる。#D-02-01-07-02
3. ストレス反応と本能・情動行動の発現機序を概説できる。#D-02-01-07-03

#### D-02-02. 診断と検査の基本

1. 脳・脊髄のコンピュータ断層撮影 (computed tomography) ・磁気共鳴画像法 (magnetic resonance imaging) 検査の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。#D-02-02-na-01
2. 神経系の電気生理学的検査（脳波検査、筋電図、末梢神経伝導検査）で得られる情報を説明できる。  
#D-02-02-na-02

#### D-02-03. 症候

1. けいれん #D-02-03-na-01
2. 意識障害・失神 #D-02-03-na-02
3. めまい #D-02-03-na-03
4. 頭痛 #D-02-03-na-04
5. 運動麻痺・筋力低下 #D-02-03-na-05

#### ■D-02-03-02. 運動失調障害と不随意運動

1. 小脳性・前庭性・感覚性運動失調障害を区別して説明できる。#D-02-03-02-01
2. 振戦を概説できる。#D-02-03-02-02
3. その他の不随意運動（ミオクローヌス、舞踏運動、ジストニア、固定姿勢保持困難 (asterixis)、アテトーシス、チック）を概説できる。#D-02-03-02-03

#### ■D-02-03-03. 歩行障害

1. 歩行障害を病態に基づいて分類できる。#D-02-03-03-01

#### ■D-02-03-04. 言語障害

1. 失語症と構音障害の違いを説明できる。#D-02-03-04-01

#### ■D-02-03-05. 頭蓋内圧亢進

1. 脳浮腫の病態を説明できる。#D-02-03-05-01
2. 急性・慢性頭蓋内圧亢進の症候を説明できる。#D-02-03-05-02
3. 脳ヘルニアの種類と症候を説明できる。#D-02-03-05-03

### D-02-04. 疾患

#### ■D-02-04-01. 脳・脊髄血管障害

1. 脳血管障害（脳出血、くも膜下出血、頭蓋内血腫、脳梗塞、一過性脳虚血発作）の病態、症候と診断を説明できる。#D-02-04-01-01
2. 脳血管障害の治療と急性期・回復期・維持期（生活期）のリハビリテーション医療を概説できる。  
#D-02-04-01-02

#### ■D-02-04-02. 認知症と変性疾患

1. 認知症の病因を列挙できる。#D-02-04-02-01
2. 認知症をきたす主な病態（Alzheimer 型認知症、Lewy 小体型認知症、血管性認知症）の症候と診断を説明できる。#D-02-04-02-02
3. Parkinson 病の病態、症候と診断を説明できる。#D-02-04-02-03
4. 筋萎縮性側索硬化症を概説できる。#D-02-04-02-04
5. 多系統萎縮症を概説できる。#D-02-04-02-05

#### ■D-02-04-03. 感染性・炎症性・脱髄性疾患

1. 脳炎・髄膜炎、脳症の病因、症候と診断を説明できる。#D-02-04-03-01
2. 多発性硬化症の病態、症候と診断を説明できる。#D-02-04-03-02

#### ■D-02-04-04. 頭部外傷

1. 頭部外傷の分類を説明できる。#D-02-04-04-01
2. 急性硬膜外・硬膜下血腫及び慢性硬膜下血腫の症候と診断を説明できる。#D-02-04-04-02
3. 頭部外傷後の高次脳機能障害を説明できる。#D-02-04-04-03

#### ■D-02-04-05. 末梢神経疾患

1. ニューロパチーの病因（栄養障害、中毒、遺伝性）と病態を分類できる。#D-02-04-05-01
2. Guillain-Barré 症候群の症候、診断を説明できる。#D-02-04-05-02

3. Bell 麻痺の症候、診断を説明できる。#D-02-04-05-03
4. 主な神経障害性疼痛（三叉・坐骨神経痛）を概説できる。#D-02-04-05-04

#### ■D-02-04-06. 筋疾患

1. 重症筋無力症の病態、症候と診断を説明できる。#D-02-04-06-01
2. 進行性筋ジストロフィーの病因、分類、症候と診断を説明できる。#D-02-04-06-02
3. 周期性四肢麻痺を概説できる。#D-02-04-06-03

#### ■D-02-04-07. 発作性疾患

1. てんかんの分類、診断と治療を説明できる。#D-02-04-07-01

#### ■D-02-04-08. 頭痛

1. 頭痛（偏頭痛、緊張型頭痛等）の分類、診断と治療を説明できる。#D-02-04-08-01

#### ■D-02-04-09. 先天性と周産期脳障害

1. 脳性麻痺の病因、病型、症候とリハビリテーションを説明できる。#D-02-04-09-01
2. 水頭症の症候と治療を説明できる。#D-02-04-09-02

#### ■D-02-04-10. 腫瘍性疾患

1. 主な脳・脊髄腫瘍の分類と好発部位を説明し、病態を概説できる。#D-02-04-10-01

### D-03. 皮膚系

#### D-03-01. 構造と機能

1. 皮膚の組織構造を図示して説明できる。#D-03-01-na-01
2. 皮膚の細胞動態と角化の機構を説明できる。#D-03-01-na-02
3. 皮膚の免疫防御能を説明できる。#D-03-01-na-03

#### D-03-02. 診断と検査の基本

1. 皮膚検査法（硝子圧法、皮膚描記法（Darier 徴候）、Nikolsky 現象、Tzanck 試験、光線テスト）を概説できる。#D-03-02-na-01
2. 皮膚アレルギー検査法（プリックテスト、皮内テスト、パッチテスト）を説明できる。#D-03-02-na-02
3. 微生物検査法（検体採取法、苛性カリ直接鏡法）を概説できる。#D-03-02-na-03



#### D-03-03. 症候

1. 発疹 #D-03-03-na-01

#### D-03-04. 疾患

##### ■D-03-04-01. 湿疹・皮膚炎

1. 湿疹反応を説明できる。#D-03-04-01-01
2. 湿疹・皮膚炎の疾患（接触皮膚炎、アトピー性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、貨幣状湿疹、皮脂欠乏性湿疹、自家感受性皮膚炎）を列挙し、概説できる。#D-03-04-01-02

##### ■D-03-04-02. 蕁麻疹、紅斑症、紅皮症と皮膚掻痒症

1. 蕁麻疹の病態、診断と治療を説明できる。#D-03-04-02-01
2. 多形滲出性紅斑、環状紅斑と紅皮症の病因と病態を説明できる。#D-03-04-02-02
3. 皮膚そう痒症の病因と病態を説明できる。#D-03-04-02-03

##### ■D-03-04-03. 紫斑・血流障害と血管炎

1. 皮膚血流障害と血管炎の病因、症候と病態を説明できる。#D-03-04-03-01

##### ■D-03-04-04. 薬疹・薬物障害

1. 薬疹や薬物障害の発生机序、症候と治療を説明できる。#D-03-04-04-01
2. 薬疹を起こしやすい主な薬物を列挙できる。#D-03-04-04-02

##### ■D-03-04-05. 水疱症と膿疱症

1. 自己免疫性水疱症の病因、病態と分類を説明できる。#D-03-04-05-01
2. 膿疱症の種類と病態を説明できる。#D-03-04-05-02
3. 水疱症鑑別のための検査法を説明できる。#D-03-04-05-03

##### ■D-03-04-06. 乾癬と角化症

1. 尋常性乾癬、扁平苔癬と Gibert 薔薇色粒糠疹の病態、症候と治療を説明できる。#D-03-04-06-01
2. 魚鱗癬の病態、症候と治療を説明できる。#D-03-04-06-02

#### ■D-03-04-07. 皮膚感染症

1. 皮膚細菌感染症（伝染性膿痂疹、せつ、癰、毛囊炎、丹毒、ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群）を列挙し、概説できる。#D-03-04-07-01
2. 皮膚真菌症（表在性、深在性）の症候と病型を説明できる。#D-03-04-07-02
3. 皮膚結核病の症候、病型と病因菌を説明できる。#D-03-04-07-03
4. 梅毒の症候、病期と合併症を説明できる。#D-03-04-07-04
5. 皮膚ウイルス感染症（単純ヘルペス、带状疱疹、伝染性軟属腫、麻疹、風疹、水痘）を列挙し、概説できる。#D-03-04-07-05
6. 後天性免疫不全症候群に伴う皮膚症状（梅毒、難治性ヘルペス、伝染性軟属腫、カポジ肉腫等）を列挙し、概説できる。#D-03-04-07-06

#### ■D-03-04-08. 母斑・腫瘍性疾患・腫瘍

1. 母斑・母斑症の種類を列挙できる。#D-03-04-08-01
2. 皮膚良性腫瘍、前癌状態と悪性腫瘍の種類と見分け方を説明できる。#D-03-04-08-02
3. 皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫を説明できる。#D-03-04-08-03
4. 基底細胞上皮腫(癌)の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。#D-03-04-08-04
5. 有棘細胞癌の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。#D-03-04-08-05
6. 悪性黒色腫の定義と病態、症候、皮疹とダーモスコピー像の所見、病理所見や診断、治療法を説明できる。#D-03-04-08-06

#### ■D-03-04-09. 付属器疾患

1. 毛の疾患の病態、症状と治療を説明できる。#D-03-04-09-01
2. 爪の疾患の病態、症状と治療を説明できる。#D-03-04-09-02

### D-04. 運動器（筋骨格）系

#### D-04-01. 構造と機能

1. 骨・軟骨・関節・靱帯の構成と機能を説明できる。#D-04-01-na-01
2. 頭頸部の構成を説明できる。#D-04-01-na-02
3. 脊柱の構成と機能を説明できる。#D-04-01-na-03
4. 四肢の骨格、主要筋群の運動と神経支配を説明できる。#D-04-01-na-04
5. 骨盤の構成と性差を説明できる。#D-04-01-na-05
6. 骨の成長と骨形成・吸収の機序を説明できる。#D-04-01-na-06

7. 姿勢と体幹の運動にかかわる筋群を概説できる。#D-04-01-na-07
8. 抗重力筋を説明できる。#D-04-01-na-08

#### D-04-02. 診断と検査の基本

1. 筋骨格系の病態に即した徒手検査（四肢・脊柱の可動域検査、神経学的検査等）を説明できる。#D-04-02-na-01
2. 筋骨格系画像診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影、磁気共鳴画像法、超音波検査、骨塩定量）の適応を概説できる。#D-04-02-na-02

#### D-04-03. 症候

1. 運動麻痺・筋力低下 #D-04-03-na-01
2. 関節痛・関節腫脹 #D-04-03-na-02
3. 腰背部痛 #D-04-03-na-03

#### D-04-04. 疾患

##### ■D-04-04-01. 運動器系の一般的疾患

1. 四肢・脊椎外傷の診断と初期治療を説明できる。#D-04-04-01-01
2. 関節の脱臼、靱帯損傷の定義、重症度分類、診断と治療を説明できる。#D-04-04-01-02
3. 骨折の分類、症候、診断、治療と合併症を説明できる。#D-04-04-01-03
4. コンパートメント症候群の病態、症候、診断と治療を説明できる。#D-04-04-01-04
5. 骨粗鬆症の病因と病態を説明し、骨折の好発部位を列挙できる。#D-04-04-01-05
6. 関節炎、腱鞘炎の病態、診断と治療を説明できる。#D-04-04-01-06
7. 変形性関節症の症候、診断と治療を説明できる。#D-04-04-01-07
8. 絞扼性末梢神経障害（手根管症候群、肘部管症候群等）を列挙し、その症候を説明できる。#D-04-04-01-08
9. 頸椎症性脊髄症（脊柱靱帯骨化症を含む）・頸椎症性神経根症の神経症候を説明できる。#D-04-04-01-09
10. 脊髄損傷の診断、治療を説明できる。#D-04-04-01-10
11. 腰椎椎間板ヘルニアの症候、診断と治療を説明できる。#D-04-04-01-11
12. 腰部脊柱管狭窄症の病態、症候、診断と治療を説明できる。#D-04-04-01-12
13. 腰椎分離・すべり症の症候、診断と治療を説明できる。#D-04-04-01-13
14. 運動器慢性疼痛（腰背部痛、頸部痛、肩こり）の病態、診断と治療を説明できる。#D-04-04-01-14
15. 運動器疾患のリハビリテーションを概説できる。#D-04-04-01-15

##### ■D-04-04-02. 感染性疾患

1. 化膿性関節炎の症候、診断と治療を説明できる。#D-04-04-02-01
2. 椎間板炎、化膿性脊椎炎、脊椎カリエスの症候、診断と治療を説明できる。#D-04-04-02-02

#### ■D-04-04-03. 腫瘍性疾患

1. 原発性骨腫瘍（骨肉腫、Ewing 肉腫）の臨床所見、画像所見、病理所見、初期治療を説明できる。  
#D-04-04-03-01
2. 転移性骨腫瘍の臨床所見、画像所見、検査所見を説明できる。#D-04-04-03-02
3. 悪性軟部腫瘍（脂肪肉腫）の診断、病理所見、治療を概説できる。#D-04-04-03-03

### D-05. 循環器系

#### D-05-01. 構造と機能

1. 心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。#D-05-01-na-01
2. 心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。#D-05-01-na-02
3. 心筋細胞の電気現象と心臓の興奮（刺激）伝導系を説明できる。#D-05-01-na-03
4. 興奮収縮連関を概説できる。#D-05-01-na-04
5. 体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。#D-05-01-na-05
6. 大動脈と主な分枝（頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢）を図示し、分布域を概説できる。#D-05-01-na-06
7. 主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。#D-05-01-na-07
8. 毛細血管における物質・水分交換を説明できる。#D-05-01-na-08
9. 胸管を経由するリンパの流れを概説できる。#D-05-01-na-09
10. 心周期にともなう血行動態を説明できる。#D-05-01-na-10
11. 心機能曲線と心拍出量の調節機序を説明できる。#D-05-01-na-11
12. 主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。#D-05-01-na-12
13. 血圧調節の機序を説明できる。#D-05-01-na-13
14. 体位や運動に伴う循環反応とその機序を説明できる。#D-05-01-na-14

#### D-05-02. 診断と検査の基本

1. 胸部単純エックス線撮影写真、心電図の主な所見を説明できる。#D-05-02-na-01
2. 心臓超音波検査の主な所見を説明できる #D-05-02-na-02
3. 運動負荷心電図、ホルター心電図を説明できる。#D-05-02-na-03
4. 心臓シンチグラフィーを説明できる。#D-05-02-na-04
5. 冠動脈造影、冠動脈コンピュータ断層撮影及び心臓磁気共鳴画像法の主な所見を説明できる。#D-05-02-na-05
6. 心カテーテル検査（心内圧、心機能、シャント率の測定）と結果の解釈を説明できる。#D-05-02-na-06

#### D-05-03. 症候

1. 発熱 #D-05-03-na-01
2. 全身倦怠感 #D-05-03-na-02

3. 食思 (欲) 不振 #D-05-03-na-03
4. 体重減少・体重増加 #D-05-03-na-04
5. ショック #D-05-03-na-05
6. 意識障害・失神 #D-05-03-na-06
7. けいれん #D-05-03-na-07
8. めまい #D-05-03-na-08
9. 浮腫 #D-05-03-na-09
10. 咳・痰 #D-05-03-na-10
11. 呼吸困難 #D-05-03-na-11
12. 胸痛 #D-05-03-na-12
13. 動悸 #D-05-03-na-13
14. 胸水 #D-05-03-na-14
15. 嚥下困難・障害 #D-05-03-na-15
16. 腹痛 #D-05-03-na-16
17. 悪心・嘔吐 #D-05-03-na-17
18. 頭痛 #D-05-03-na-18
19. 腰背部痛 #D-05-03-na-19
20. 心停止 #D-05-03-na-20

#### D-05-04. 疾患

##### ■D-05-04-01. 心不全

1. 心不全の定義と原因、病態生理（収縮不全、拡張不全）を説明できる。#D-05-04-01-01
2. 左心不全と右心不全の徴候、病態、診断と治療を説明できる。#D-05-04-01-02
3. 急性心不全と慢性心不全の診断と薬物療法、非薬物療法（心臓リハビリテーションを含む）を説明できる。#D-05-04-01-03
4. 心不全診療における多職種連携（チーム医療）による疾病管理プログラムを概説できる。#D-05-04-01-04
5. 高齢者における心不全の特徴を説明できる。#D-05-04-01-05

##### ■D-05-04-02. 虚血性心疾患

1. 安定労作性狭心症の病態、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-02-01
2. 冠攣縮性狭心症の病態、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-02-02
3. 急性冠症候群（不安定狭心症、非 ST 上昇型心筋梗塞及び ST 上昇型心筋梗塞）の病態、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-02-03
4. 虚血性心疾患の発症予防、再発予防を説明できる。#D-05-04-02-04
5. 陳旧性心筋梗塞の病態、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-02-05
6. 虚血性心疾患の薬物治療、非薬物療法（血行再建術（経皮的冠動脈形成術、ステント留置術、冠動脈バイパス術）、心臓リハビリテーション）を説明できる。#D-05-04-02-06

#### ■D-05-04-03. 不整脈

1. 主な徐脈性不整脈（洞不全症候群（sick sinus 症候群）、房室ブロック）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。#D-05-04-03-01
2. 主な上室性頻脈性不整脈（洞性頻脈、上室性期外収縮、心房細動、心房粗動、発作性上室性頻拍症）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。#D-05-04-03-02
3. 主な心室性頻脈性不整脈（心室性期外収縮、心室頻拍、多源性心室頻拍（トルサード・ド・ポワント（torsades de pointes）、心室細動）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。#D-05-04-03-03
4. 不整脈の原因となる疾患や病態（電解質異常、QT 延長症候群、薬剤、甲状腺機能亢進症、Wolff-Parkinson-White 症候群、Brugada 症候群等）を説明できる。#D-05-04-03-04
5. 不整脈の薬物療法、非薬物療法（カテーテルアブレーション、電氣的除細動、ペースメーカー植え込み、植え込み型除細動器）を概説できる。#D-05-04-03-05
6. 致死性不整脈の診断、初期対応、治療を説明できる。#D-05-04-03-06

#### ■D-05-04-04. 弁膜症

1. 主な弁膜症（僧帽弁疾患、大動脈弁疾患）の病因、病態生理、症候と診断を説明し、治療を説明できる。  
#D-05-04-04-01

#### ■D-05-04-05. 心筋・心膜疾患

1. 心肥大の病態生理、リモデリング機序を説明できる。#D-05-04-05-01
2. 特発性心筋症（肥大型心筋症、拡張型心筋症、拘束型心筋症）と二次性心筋疾患の定義・概念と病態生理を説明できる。#D-05-04-05-02
3. 急性心筋炎の病態、症候、診断、治療症候を説明できる。#D-05-04-05-03
4. 感染性心内膜炎の病態、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-05-04
5. 急性心膜炎、収縮性心膜炎の病態、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-05-05
6. 心タンポナーデの病態、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-05-06
7. 主な心臓腫瘍（粘液腫など）の病態、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-05-07

#### ■D-05-04-06. 先天性心疾患

1. 主な先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存、Fallot 四徴症）の病態生理、症候と診断を説明し、治療を概説できる。#D-05-04-06-01

#### ■D-05-04-07. 動脈疾患

1. 動脈硬化の危険因子、病態、非侵襲的検査法を説明できる。#D-05-04-07-01
2. 急性大動脈解離の病態、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-07-02

3. 大動脈瘤（破裂）の病態、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-07-03
4. 閉塞性動脈硬化症と Buerger 病の病態、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-07-04
5. 高安動脈炎（大動脈炎症候群）を概説できる。#D-05-04-07-05

#### ■D-05-04-08. 静脈・リンパ管疾患

1. 深部静脈血栓症 (deep vein thrombosis)、血栓性静脈炎の病因、症候、合併症、治療を説明できる。  
#D-05-04-08-01
2. 上大静脈症候群の病因と症候を説明できる。#D-05-04-08-02
3. 下肢静脈瘤を説明できる。#D-05-04-08-03
4. リンパ浮腫の病因を列挙できる。#D-05-04-08-04

#### ■D-05-04-09. 高血圧症

1. 本態性高血圧症の疫学、診断、合併症、予後、治療を説明できる。#D-05-04-09-01
2. 二次性高血圧症の病因（内分泌性、腎血管性、薬剤性）、症候、診断、治療を説明できる。#D-05-04-09-02
3. 各種降圧薬の作用機序、適応、禁忌、副作用を説明できる。#D-05-04-09-03
4. 高血圧緊急症の病態と対応を説明できる。#D-05-04-09-04
5. 他疾患（脳血管疾患、心疾患、腎疾患、糖尿病）を合併する場合の血圧管理を説明できる。#D-05-04-09-05
6. 高齢者の高血圧の特徴と治療の注意点を説明できる。#D-05-04-09-06

#### ■D-05-04-10. 低血圧症

1. 低血圧の原因疾患、病態生理、症候、診断、予後、治療を説明できる。#D-05-04-10-01
2. 起立性低血圧、神経調節性失神の診断、予後、治療を説明できる。#D-05-04-10-02

#### ■D-05-04-11. 腫瘍性疾患

1. 粘液腫の定義と病態、症候、検査所見、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。#D-05-04-11-01

### D-06. 呼吸器系

#### D-06-01. 構造と機能

1. 気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。#D-06-01-na-01
2. 肺循環と体循環の違いを説明できる。#D-06-01-na-02
3. 縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。#D-06-01-na-03
4. 呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。#D-06-01-na-04
5. 肺気量分画、換気、死腔（換気力学（胸腔内圧、肺コンプライアンス、抵抗、クローージングボリューム (closing volume)））を説明できる。#D-06-01-na-05

6. 肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。#D-06-01-na-06
7. 肺の換気と血流（換気血流比）が動脈血ガスにおよぼす影響（肺胞気-動脈血酸素分圧較差（alveolar-arterial oxygen difference））を説明できる。#D-06-01-na-07
8. 呼吸中枢を介する呼吸調節の機序を説明できる。#D-06-01-na-08
9. 血液による酸素と二酸化炭素の運搬の仕組みを説明できる。#D-06-01-na-09
10. 気道と肺の防御機構（免疫学的・非免疫学的）と代謝機能を説明できる。#D-06-01-na-10

#### D-06-02. 診断と検査の基本

1. 単純エックス線撮影、コンピュータ断層撮影、磁気共鳴画像法、及び核医学検査（ポジトロン断層法（positron emission tomography）検査を含む）等の画像検査の意義を説明できる。#D-06-02-na-01
2. 気管支内視鏡検査の意義を説明できる。#D-06-02-na-02
3. 喀痰検査（喀痰細胞診、喀痰培養）の意義を説明できる。#D-06-02-na-03

#### D-06-03. 症候

##### ■D-06-03-01. 喘鳴

1. 喘鳴の発生機序と原因疾患を説明できる。#D-06-03-01-01

##### ■D-06-03-02. その他の症候

1. 胸水 #D-06-03-02-01
2. 胸痛・胸部圧迫感 #D-06-03-02-02
3. 呼吸困難・息切れ #D-06-03-02-03
4. 咳・痰 #D-06-03-02-04
5. 血痰・咯血 #D-06-03-02-05

#### D-06-04. 疾患

##### ■D-06-04-01. 呼吸不全、低酸素血症と高二酸化炭素血症

1. 呼吸不全の定義、分類、病態生理と主な病因を説明できる。#D-06-04-01-01
2. 低酸素血症と高二酸化炭素血症の病因、分類と診断を説明し、治療を概説できる。#D-06-04-01-02

##### ■D-06-04-02. 呼吸器感染症

1. 急性上気道感染症（かぜ症候群）と扁桃炎の病因、診断と治療を説明できる。#D-06-04-02-01
2. 気管支炎・細気管支炎・肺炎（定型肺炎、非定型肺炎）の主な病原体を列挙し、症候、診断と治療を説明できる。#D-06-04-02-02
3. 肺結核症と肺真菌症の症候、診断、治療と届出手続を説明できる。#D-06-04-02-03



4. 非結核性（非定型）抗酸菌症を概説できる。#D-06-04-02-04
5. 誤嚥性肺炎の発生機序とその予防法を説明できる。#D-06-04-02-05
6. クループ症候群と急性喉頭蓋炎の病因、診断と治療を説明できる。#D-06-04-02-06
7. 肺化膿症と膿胸を概説できる。#D-06-04-02-07

#### ■D-06-04-03. 閉塞性換気障害・拘束性換気障害をきたす肺疾患

1. 慢性閉塞性肺疾患 (chronic obstructive pulmonary disease ) の病因を列挙できる。#D-06-04-03-01
2. 慢性閉塞性肺疾患の病因、診断、治療、呼吸器リハビリテーションを説明できる。#D-06-04-03-02
3. 気管支喘息（小児喘息を含む）の病態生理、診断と治療を説明できる。#D-06-04-03-03
4. 間質性肺炎（特発性、膠原病及び血管炎関連性）の病態、診断と治療を説明できる。#D-06-04-03-04
5. びまん性汎細気管支炎を概説できる。#D-06-04-03-05
6. 放射線肺炎を概説できる。#D-06-04-03-06
7. じん肺症（珪肺 (silicosis)、石綿肺 (asbestosis)）を概説できる。#D-06-04-03-07

#### ■D-06-04-04. 肺循環障害

1. 肺性心の病因、診断と治療を説明できる。#D-06-04-04-01
2. 急性呼吸促（窮）迫症候群 (acute respiratory distress syndrome ) の病因、症候と治療を説明できる。  
#D-06-04-04-02
3. 肺血栓塞栓症の病因、診断と治療を説明できる。#D-06-04-04-03
4. 肺高血圧症を概説できる。#D-06-04-04-04

#### ■D-06-04-05. 免疫学的機序による肺疾患

1. 過敏性肺炎の病因、症候と診断を説明できる。#D-06-04-05-01
2. サルコイドーシスの症候、診断と治療を説明できる。#D-06-04-05-02
3. 好酸球性肺炎を概説できる。#D-06-04-05-03
4. 薬剤性肺炎を概説できる。#D-06-04-05-04

#### ■D-06-04-06. 異常呼吸

1. 過換気症候群を概説できる。#D-06-04-06-01
2. 睡眠時無呼吸症候群を概説できる。#D-06-04-06-02
3. 肺泡低換気症候群を概説できる。#D-06-04-06-03

#### ■D-06-04-07. 気管支拡張症とその他の肺疾患

1. 気管支拡張症の症候、診断と治療を説明できる。#D-06-04-07-01
2. 無気肺の病因と診断を説明できる。#D-06-04-07-02

3. 新生児呼吸促迫症候群の症候、病態、診断と治療を説明できる。#D-06-04-07-03
4. 肺リンパ脈管筋腫症を概説できる。#D-06-04-07-04
5. 肺胞タンパク症を概説できる。#D-06-04-07-05

#### ■D-06-04-08. 胸膜・縦隔疾患

1. 胸膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-06-04-08-01
2. 気胸（自然気胸、緊張性気胸、外傷性気胸）の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-06-04-08-02
3. 縦隔気腫の病因、症候と診断を説明できる。#D-06-04-08-03
4. 胸膜生検の適応を説明できる。#D-06-04-08-04

#### ■D-06-04-09. 腫瘍性疾患

1. 肺癌の組織型、病期分類、病理所見、診断、治療を説明できる。#D-06-04-09-01
2. 転移性肺腫瘍の診断と治療を説明できる。#D-06-04-09-02
3. 縦隔腫瘍の種類を列挙し、診断と治療を説明できる。#D-06-04-09-03
4. 胸膜中皮腫の病因、診断、治療を概説できる。#D-06-04-09-04

### D-07. 消化器系

#### D-07-01. 構造と機能

1. 各消化器官の位置、形態と関係する血管を図示できる。#D-07-01-na-01
2. 腹膜と臓器の関係を説明できる。#D-07-01-na-02
3. 食道・胃・小腸・大腸の基本構造と部位による違いを説明できる。#D-07-01-na-03
4. 消化管運動の仕組みを説明できる。#D-07-01-na-04
5. 消化器官に対する自律神経の作用を説明できる。#D-07-01-na-05
6. 肝の構造と機能を説明できる。#D-07-01-na-06
7. 胃液の作用と分泌機序を説明できる。#D-07-01-na-07
8. 胆汁の作用と胆嚢収縮の調節機序を説明できる。#D-07-01-na-08
9. 膵外分泌系の構造と膵液の作用を説明できる。#D-07-01-na-09
10. 小腸における消化・吸収の仕組みを説明できる。#D-07-01-na-10
11. 大腸における糞便形成と排便の仕組みを説明できる。#D-07-01-na-11
12. 主な消化管ホルモンの作用を説明できる。#D-07-01-na-12
13. 歯、舌、唾液腺の構造と機能を説明できる。#D-07-01-na-13
14. 咀嚼くと嚥下の機構を説明できる。#D-07-01-na-14
15. 消化管の正常細菌叢（腸内細菌叢）の役割を説明できる。#D-07-01-na-15

#### D-07-02. 診断と検査の基本

1. 代表的な肝炎ウイルス検査の検査項目を列挙し、その意義を説明できる。#D-07-02-na-01

2. 消化器関連の代表的な腫瘍マーカー（ $\alpha$ -fetoprotein、carcinoembryonic antigen、carbohydrate antigen 19-9、protein induced by vitamin K absence or antagonists -II）の意義を説明できる。  
#D-07-02-na-02
3. 消化器系疾患の画像検査を列挙し、その適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。#D-07-02-na-03
4. 消化器内視鏡検査から得られる情報を説明できる。#D-07-02-na-04
5. 生検と細胞診の意義と適応を説明できる。#D-07-02-na-05

#### D-07-03. 症候

##### ■D-07-03-01. 肝腫大

1. 肝腫大をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。#D-07-03-01-01
2. 肝腫大のある患者における医療面接、診察と診断の要点を説明できる。#D-07-03-01-02

##### ■D-07-03-02. その他の症候

1. 黄疸 #D-07-03-02-01
2. 腹痛 #D-07-03-02-02
3. 悪心・嘔吐 #D-07-03-02-03
4. 食思(欲)不振 #D-07-03-02-04
5. 便秘・下痢・血便 #D-07-03-02-05
6. 吐血・下血 #D-07-03-02-06
7. 腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤 #D-07-03-02-07

#### D-07-04. 疾患

##### ■D-07-04-01. 食道疾患

1. 食道・胃静脈瘤の病態生理、内視鏡分類と治療を説明できる。#D-07-04-01-01
2. 胃食道逆流症（gastroesophageal reflux disease）と逆流性食道炎の病態生理、症候と診断を説明できる。#D-07-04-01-02
3. Mallory-Weiss 症候群を概説できる。#D-07-04-01-03

##### ■D-07-04-02. 胃・十二指腸疾患

1. 胃潰瘍、十二指腸潰瘍（消化性潰瘍）の病因、症候、進行度分類、診断と治療を説明できる。#D-07-04-02-01
2. Helicobacter pylori 感染症の診断と治療を説明できる。#D-07-04-02-02
3. 胃ポリープの病理と肉眼分類を説明できる。#D-07-04-02-03
4. 急性胃粘膜病変の概念、診断と治療を説明できる。#D-07-04-02-04
5. 急性胃腸炎、慢性胃炎を概説できる。#D-07-04-02-05

6. 胃切除後症候群の病態生理を説明できる。#D-07-04-02-06
7. 機能性消化管障害（機能性ディスぺプシア (functional dyspepsia) ）を説明できる。#D-07-04-02-07
8. 肥厚性幽門狭窄症を概説できる。#D-07-04-02-08

#### ■D-07-04-03. 小腸・大腸疾患

1. 急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。#D-07-04-03-01
2. 腸閉塞とイレウスの病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-07-04-03-02
3. 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎・Crohn 病）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。#D-07-04-03-03
4. 痔核と痔瘻の病態生理、症候と診断を説明できる。#D-07-04-03-04
5. 機能性消化管障害（過敏性腸症候群）を概説できる。#D-07-04-03-05
6. 腸管憩室症（大腸憩室炎と大腸憩室出血）を概説できる。#D-07-04-03-06
7. 薬物性腸炎を概説できる。#D-07-04-03-07
8. 消化管ポリポースを概説できる。#D-07-04-03-08
9. 大腸の主な先天性疾患（鎖肛、Hirschsprung 病）を概説できる。#D-07-04-03-09
10. 腸重積症を概説できる。#D-07-04-03-10
11. 便秘症、乳児下痢症を説明できる。#D-07-04-03-11
12. 感染性腸炎を概説できる。#D-07-04-03-12
13. 虚血性大腸炎を概説できる。#D-07-04-03-13
14. 急性出血性直腸潰瘍を概説できる。#D-07-04-03-14
15. 上腸間膜動脈閉塞症を概説できる。#D-07-04-03-15
16. 消化管神経内分泌腫瘍 (neuroendocrine tumor ) を概説できる。#D-07-04-03-16
17. 消化管間質腫瘍 (gastrointestinal stromal tumor ) を概説できる。#D-07-04-03-17

#### ■D-07-04-04. 胆道疾患

1. 胆石症の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-07-04-04-01
2. 胆嚢炎と胆管炎の病因、病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。#D-07-04-04-02
3. 胆嚢ポリープを概説できる。#D-07-04-04-03
4. 先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。#D-07-04-04-04

#### ■D-07-04-05. 肝疾患

1. A 型・B 型・C 型・D 型・E 型肝炎の疫学、症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。#D-07-04-05-01
2. 急性肝炎、慢性肝炎の定義を説明できる。#D-07-04-05-02
3. 急性肝不全の概念、診断を説明できる。#D-07-04-05-03
4. 肝硬変の病因、病理、症候、診断と治療を説明できる。#D-07-04-05-04
5. 肝硬変の合併症（門脈圧亢進症、肝性脳症、肝癌）を概説できる。#D-07-04-05-05
6. アルコール性肝障害を概説できる。#D-07-04-05-06
7. 薬物性肝障害を概説できる。#D-07-04-05-07

8. 肝膿瘍の症候、診断と治療を説明できる。#D-07-04-05-08
9. 原発性胆汁性胆管炎（原発性胆汁性肝硬変）と原発性硬化性胆管炎の症候、診断、治療、経過と予後を説明できる。#D-07-04-05-09
10. 自己免疫性肝炎を概説できる。#D-07-04-05-10
11. 脂肪性肝疾患を概説できる。#D-07-04-05-11

#### ■D-07-04-06. 脾臓疾患

1. 急性脾炎（アルコール性、胆石性、特発性）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。#D-07-04-06-01
2. 慢性脾炎（アルコール性、特発性）の病態生理、症候、診断、合併症と治療を説明できる。#D-07-04-06-02
3. 自己免疫性脾炎を概説できる。#D-07-04-06-03

#### ■D-07-04-07. 腹膜・腹壁・横隔膜疾患

1. 腹膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-07-04-07-01
2. ヘルニアの概念、病態（滑脱、嵌頓、絞扼）と好発部位を説明できる。#D-07-04-07-02
3. 鼠径部ヘルニアの病因、病態、診断と治療を説明できる。#D-07-04-07-03

#### ■D-07-04-08. 腫瘍性疾患

1. 食道癌の病理所見、肉眼分類と進行度分類を説明できる。#D-07-04-08-01
2. 食道癌の症候、診断、治療と予後を説明できる。#D-07-04-08-02
3. 胃癌の疫学、病理所見、症候、肉眼分類と進行度分類を説明できる。#D-07-04-08-03
4. 胃癌の診断法を列挙し、所見とその意義を説明できる。#D-07-04-08-04
5. 胃癌の進行度に応じた治療を概説できる。#D-07-04-08-05
6. 大腸癌の病理所見、診断、肉眼分類と進行度分類を説明できる。#D-07-04-08-06
7. 大腸癌の症候、診断、治療を説明できる。#D-07-04-08-07
8. 胆嚢・胆管癌・乳頭部癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。#D-07-04-08-08
9. 原発性肝癌、転移性肝癌の病因、病理所見、症候、診断と治療を説明できる。#D-07-04-08-09
10. 脾癌の病理所見、症候、診断と治療を説明できる。#D-07-04-08-10
11. 嚢胞性脾腫瘍の分類と病理所見を説明できる。#D-07-04-08-11
12. 腹膜中皮腫、消化管間質腫瘍、消化管カルチノイドを概説できる。#D-07-04-08-12

### D-08. 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）

#### D-08-01. 構造と機能

1. 体液の量と組成・浸透圧を小児と成人を区別して説明できる。#D-08-01-na-01
2. 腎・尿路系の位置・形態と血管分布・神経支配を説明できる。#D-08-01-na-02
3. 腎の機能の全体像やネフロン各部の構造と機能を概説できる。#D-08-01-na-03

4. 腎糸球体における濾過の機序を説明できる。#D-08-01-na-04
5. 尿細管各部における再吸収・分泌機構と尿の濃縮機序を説明できる。#D-08-01-na-05
6. 水電解質、酸・塩基平衡の調節機構を概説できる。#D-08-01-na-06
7. 腎で産生される又は腎に作用するホルモン・血管作動性物質（エリスロポエチン、ビタミン D、レニン、アンギオテンシン II、アルドステロン）の作用を説明できる。#D-08-01-na-07
8. 蓄排尿の機序を説明できる。#D-08-01-na-08

#### D-08-02. 診断と検査の基本

1. 腎・尿路系の画像診断の適応と異常所見を概説できる。#D-08-02-na-01
2. 糸球体濾過量（実測、推算）を含む腎機能検査法を概説できる。#D-08-02-na-02
3. 腎生検の適応と禁忌を説明できる。#D-08-02-na-03
4. 尿流動態検査を説明できる。#D-08-02-na-04

#### D-08-03. 症候

##### ■D-08-03-01. 電解質異常

1. 高・低 Na 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。#D-08-03-01-01
2. 高・低 K 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。#D-08-03-01-02
3. 高・低 Ca 血症（原因疾患、症候、治療）を概説できる。#D-08-03-01-03
4. 高・低 P 血症、高・低 Cl 血症、高・低 Mg 血症を概説できる。#D-08-03-01-04

##### ■D-08-03-02. アシドーシス・アルカローシス

1. アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の定義、病態生理と診断を説明できる。#D-08-03-02-01
2. アシドーシス・アルカローシス（代謝性・呼吸性）の治療を概説できる。#D-08-03-02-02

##### ■D-08-03-03. その他の症候

1. 脱水 #D-08-03-03-01
2. 浮腫 #D-08-03-03-02
3. 血尿・タンパク尿 #D-08-03-03-03
4. 尿量・排尿の異常 #D-08-03-03-04

#### D-08-04. 疾患

##### ■D-08-04-01. 腎不全

1. 急性腎不全（急性腎障害）の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-01-01

2. 慢性腎不全（慢性腎臓病 (chronic kidney disease)）の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-01-02
3. 慢性腎臓病重症度分類を説明できる。#D-08-04-01-03
4. 慢性腎不全の合併症である腎性貧血、ミネラル骨代謝異常を概説できる。#D-08-04-01-04
5. 透析導入基準（慢性腎不全）を説明できる。#D-08-04-01-05
6. 腎不全の治療（血液透析・腹膜透析・腎移植）を説明できる。#D-08-04-01-06

#### ■D-08-04-02. 原発性糸球体疾患

1. 急性糸球体腎炎症候群の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-02-01
2. 慢性糸球体腎炎症候群（IgA 腎症を含む）の症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-02-02
3. ネフローゼ症候群の分類、症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-02-03
4. 急速進行性糸球体腎炎を概説できる。#D-08-04-02-04
5. 臨床症候分類（急性腎炎症候群、慢性腎炎症候群、ネフローゼ症候群、急速進行性腎炎症候群、反復性または持続性血尿症候群）を概説できる。#D-08-04-02-05

#### ■D-08-04-03. 高血圧及び腎血管障害

1. 高血圧による腎障害（腎硬化症）を概説できる。#D-08-04-03-01
2. 腎血管性高血圧症を概説できる。#D-08-04-03-02

#### ■D-08-04-04. 尿細管機能異常

1. 尿細管性アシドーシスの分類、病態生理、診断と治療を説明できる。#D-08-04-04-01
2. Fanconi 症候群（腎性糖尿を含む）の概念、症候と診断を説明できる。#D-08-04-04-02

#### ■D-08-04-05. 尿細管・間質性疾患

1. 急性・慢性腎盂腎炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-05-01
2. 急性・慢性尿細管間質性腎炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-05-02

#### ■D-08-04-06. 全身性疾患による腎障害

1. 糖尿病腎症の症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-06-01
2. ループス腎炎の症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-06-02
3. アミロイド腎症の症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-06-03
4. 膠原病類縁疾患（血管炎症候群、抗糸球体基底膜 (glomerular basement membrane) 病 (Goodpasture 症候群)) の腎病変を説明できる。#D-08-04-06-04
5. IgA 血管炎（紫斑病性腎炎）を概説できる。#D-08-04-06-05

#### ■D-08-04-07. 先天異常と外傷

1. 腎尿路の主な先天異常（多発性嚢胞腎、膀胱尿管逆流）を概説できる。#D-08-04-07-01
2. 腎外傷の症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-07-02

#### ■D-08-04-08. 尿路疾患

1. 尿路結石の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-08-04-08-01
2. 尿路の炎症（膀胱炎・前立腺炎・尿道炎）の病因、診断と治療を説明できる。#D-08-04-08-02
3. 神経因性膀胱を概説できる。#D-08-04-08-03

#### ■D-08-04-09. 腫瘍性疾患

1. 腎癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。#D-08-04-09-01
2. 膀胱癌を含む尿路上皮癌の症候、診断、治療を説明できる。#D-08-04-09-02

### D-09. 生殖機能

#### D-09-01. 構造と機能

1. 生殖腺の発生と性分化の過程を説明できる。#D-09-01-na-01
2. 男性生殖器の発育の過程を説明できる。#D-09-01-na-02
3. 男性生殖器の形態と機能を説明できる。#D-09-01-na-03
4. 精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる。#D-09-01-na-04
5. 陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる。#D-09-01-na-05
6. 女性生殖器の発育の過程を説明できる。#D-09-01-na-06
7. 女性生殖器の形態と機能を説明できる。#D-09-01-na-07
8. 性周期発現と排卵の機序を説明できる。#D-09-01-na-08
9. 閉経の過程と疾病リスクの変化を説明できる。#D-09-01-na-09

#### D-09-02. 診断と検査の基本

##### ■D-09-02-01. 男性生殖器

1. 精巣と前立腺の検査法（尿路造影、超音波検査、コンピュータ断層撮影、磁気共鳴画像法）の適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる。#D-09-02-01-01

##### ■D-09-02-02. 女性生殖器



1. 血中ホルモン（卵胞刺激ホルモン (follicle-stimulating hormone )、黄体形成ホルモン (luteinizing hormone )、プロラクチン、ヒト絨毛性ゴナドトロピン (human chorionic gonadotropin 、エストロゲン、プロゲステロン) 測定値を評価できる。#D-09-02-02-01
2. 骨盤内臓器と腫瘍の画像診断（超音波検査、コンピュータ断層撮影、磁気共鳴画像法、子宮卵管造影 (hysterosalpingography ) 所見を概説できる。#D-09-02-02-02
3. 基礎体温の所見を説明できる。#D-09-02-02-03
4. 腔分泌物の所見を説明できる。#D-09-02-02-04

#### D-09-03. 症候

##### ■D-09-03-01. 男性生殖器の主要症候

1. 勃起不全と射精障害を概説できる。#D-09-03-01-01
2. 精巣機能障害を概説できる。#D-09-03-01-02

##### ■D-09-03-02. 男性生殖器のその他の症候

1. 腹痛 #D-09-03-02-01
2. 腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤 #D-09-03-02-02
3. 血尿・タンパク尿 #D-09-03-02-03
4. 尿量・排尿の異常 #D-09-03-02-04

##### ■D-09-03-03. 女性生殖器の主要症候

1. 不正性器出血、腔分泌物（帯下）の増量、腔乾燥感、性交痛、乳汁漏出症をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。#D-09-03-03-01

##### ■D-09-03-04. 女性生殖器のその他の症候

1. 貧血 #D-09-03-04-01
2. 腹痛 #D-09-03-04-02
3. 腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘤 #D-09-03-04-03
4. 尿量・排尿の異常 #D-09-03-04-04
5. 月経異常・無月経 #D-09-03-04-05

#### D-09-04. 疾患

##### ■D-09-04-01. 男性生殖器疾患

1. 男性不妊症を概説できる。#D-09-04-01-01
2. 前立腺肥大症の診断と治療を説明できる。#D-09-04-01-02

3. 停留精巣、陰嚢内腫瘍を概説できる。#D-09-04-01-03

#### ■D-09-04-02. 女性生殖器疾患

1. 内外生殖器の先天異常を説明できる。#D-09-04-02-01
2. 卵巣機能障害、更年期障害を概説できる。#D-09-04-02-02
3. 不妊症の系統診断と治療を説明できる。#D-09-04-02-03
4. 子宮筋腫・子宮腺筋症の症候、診断と治療を概説できる。#D-09-04-02-04
5. 子宮内膜症の症候、診断と治療を説明できる。#D-09-04-02-05
6. 外陰、膣と骨盤内感染症の症候、診断と治療を説明できる。#D-09-04-02-06

#### ■D-09-04-03. 腫瘍性疾患

1. 前立腺癌の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。#D-09-04-03-01
2. 精巣腫瘍の症候、診断、治療を説明できる。#D-09-04-03-02
3. 子宮頸癌・子宮体癌（子宮内膜癌）の予防、症候、病理所見、診断、治療を説明できる。#D-09-04-03-03
4. 卵巣腫瘍（卵巣癌、卵巣嚢腫）の症候、病理所見、診断、治療を説明できる。#D-09-04-03-04
5. 絨毛性疾患（胎状奇胎、絨毛癌）の症候、診断、治療を説明できる。#D-09-04-03-05

### D-10. 妊娠と分娩

#### D-10-01. 診断と検査の基本

1. 妊娠の診断法を説明できる。#D-10-01-na-01
2. 妊娠に伴う身体的変化を概説できる。#D-10-01-na-02
3. 胎児・胎盤検査法（超音波検査、分娩監視装置による）の意義を説明できる。#D-10-01-na-03
4. 羊水検査法の意義と異常所見を説明できる。#D-10-01-na-04

#### D-10-02. 症候

1. 腹痛 #D-10-02-na-01
2. 悪心・嘔吐 #D-10-02-na-02
3. 腹部膨隆（腹水を含む）・膨満・腫瘍 #D-10-02-na-03

#### D-10-03. 正常妊娠・分娩・産褥

1. 妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。#D-10-03-na-01
2. 胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的变化を説明できる。#D-10-03-na-02
3. 正常妊娠の経過を説明できる。#D-10-03-na-03
4. 正常分娩の経過を説明できる。#D-10-03-na-04
5. 産褥の過程を説明できる。#D-10-03-na-05

6. 育児に伴う母体の構造的・生理的な変化、精神問題を説明できる。#D-10-03-na-06
7. 母子保健の意義を医学的に説明できる。#D-10-03-na-07
8. 妊娠時の薬物療法の注意点を説明できる。#D-10-03-na-08

#### D-10-04. 疾患

1. 主な異常妊娠（流産、切迫流産、子宮外妊娠（異所性妊娠）、妊娠高血圧症候群、多胎妊娠、胎児発育不全）の病態を説明できる。#D-10-04-na-01
2. 主な異常分娩（早産、微弱陣痛、遷延分娩、回旋異常、前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、弛緩出血、分娩外傷）の病態を説明できる。#D-10-04-na-02
3. 主な異常産褥（子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎）の病態を説明できる。#D-10-04-na-03
4. 産科救急（産科出血、播種性血管内凝固）の病態と治療を説明できる。#D-10-04-na-04
5. 主な合併症妊娠（耐糖能異常、甲状腺疾患、血液型不適合妊娠、toxoplasmosis, other agents, rubella, cytomegalovirus, herpes simplex 症候群）の病態を説明できる。#D-10-04-na-05

#### D-10-05. 産科手術

1. 人工妊娠中絶の適応を説明できる。#D-10-05-na-01
2. 帝王切開術の適応を説明できる。#D-10-05-na-02

### D-11. 乳房

#### D-11-01. 構造と機能

1. 乳房の構造と機能を説明できる。#D-11-01-na-01
2. 成長発達に伴う乳房の変化を説明できる。#D-11-01-na-02
3. 乳汁分泌に関するホルモンの作用を説明できる。#D-11-01-na-03

#### D-11-02. 診断と検査の基本

1. 乳房腫瘍の画像診断（乳房撮影、超音波検査、磁気共鳴画像法）を概説できる。#D-11-02-na-01
2. 乳房腫瘍に対する細胞・組織診断法を概説できる。#D-11-02-na-02

#### D-11-03. 症候

1. 乳房腫瘍、異常乳汁分泌（血性乳頭分泌）と乳房の腫脹・疼痛・変形をきたす主な病因を列挙できる。  
#D-11-03-na-01

#### D-11-04. 疾患

##### ■D-11-04-01. 良性乳腺疾患

1. 良性乳腺疾患の種類を列挙できる。#D-11-04-01-01

2. 女性化乳房を概説できる。#D-11-04-01-02

#### ■D-11-04-02. 腫瘍性疾患

1. 乳癌の危険因子、症候、病理所見、診断、治療と予後を説明できる。#D-11-04-02-01

### D-12. 内分泌・栄養・代謝系

#### D-12-01. 構造と機能

1. ホルモンを構造から分類し作用機序と分泌調節機能を説明できる。#D-12-01-na-01
2. 各内分泌器官の位置を図示し、そこから分泌されるホルモンを列挙できる。#D-12-01-na-02
3. 視床下部ホルモン・下垂体ホルモンの名称、作用と相互関係を説明できる。#D-12-01-na-03
4. 甲状腺と副甲状腺（上皮小体）から分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。#D-12-01-na-04
5. 副腎の構造と分泌されるホルモンの作用と分泌調節機構を説明できる。#D-12-01-na-05
6. 膵島から分泌されるホルモンの作用を説明できる。#D-12-01-na-06
7. 男性ホルモン・女性ホルモンの合成・代謝経路と作用を説明できる。#D-12-01-na-07
8. 三大栄養素、ビタミン、微量元素の消化吸収と栄養素の生物学的利用効率 (bioavailability) を説明できる。#D-12-01-na-08
9. 糖質・タンパク質・脂質の代謝経路と相互作用を説明できる。#D-12-01-na-09

#### D-12-02. 診断と検査の基本

1. ホルモンの過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。#D-12-02-na-01
2. 血中ホルモン濃度に影響を与える因子を列挙できる。#D-12-02-na-02
3. ホルモンの日内変動の例を挙げて説明できる。#D-12-02-na-03
4. ホルモン分泌刺激試験と抑制試験の原理と反応の型を説明できる。#D-12-02-na-04
5. エネルギー摂取の過剰または欠乏がもたらす身体症状を説明できる。#D-12-02-na-05

#### D-12-03. 症候

##### ■D-12-03-01. 低身長

1. 低身長をきたす疾患を列挙し、その病態生理を説明できる。#D-12-03-01-01

##### ■D-12-03-02. 甲状腺腫

1. 甲状腺腫を分類し、疾患を列挙できる。#D-12-03-02-01
2. 甲状腺の触診ができる。#D-12-03-02-02

■D-12-03-03. その他の症候

1. 肥満・やせ #D-12-03-03-01
2. 月経異常 #D-12-03-03-02

D-12-04. 疾患

■D-12-04-01. 視床下部・下垂体疾患

1. Cushing 病の病態と診断を説明できる。#D-12-04-01-01
2. 先端巨大症を概説できる。#D-12-04-01-02
3. 汎下垂体機能低下症を概説できる。#D-12-04-01-03
4. 尿崩症を概説できる。#D-12-04-01-04
5. 成長ホルモン分泌不全性低身長症を概説できる。#D-12-04-01-05
6. 高プロラクチン血症を概説できる。#D-12-04-01-06
7. 抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 (syndrome of inappropriate secretion of antidiuretic hormone ) を概説できる。#D-12-04-01-07

■D-12-04-02. 甲状腺疾患

1. Basedow 病の病態、症候、診断と治療を説明できる。#D-12-04-02-01
2. 甲状腺炎（慢性・亜急性）を概説できる。#D-12-04-02-02
3. 甲状腺機能低下症の症候、診断と治療を説明できる。#D-12-04-02-03

■D-12-04-03. 副甲状腺疾患とカルシウム代謝異常

1. カルシウム代謝の異常を疾患と関連付けて説明できる。#D-12-04-03-01
2. 副甲状腺機能亢進症と副甲状腺機能低下症の病因、病態、症候と診断を説明できる。#D-12-04-03-02
3. 悪性腫瘍に伴う高 Ca 血症を概説できる。#D-12-04-03-03
4. 偽性副甲状腺機能低下症を概説できる。#D-12-04-03-04

■D-12-04-04. 副腎皮質・髄質疾患

1. Cushing 症候群の病態、症候と診断を説明できる。#D-12-04-04-01
2. アルドステロン過剰症、原発性アルドステロン症を概説できる。#D-12-04-04-02
3. 副腎不全（急性・慢性（Addison 病））の病因、病態生理、症候、診断と治療を説明できる。#D-12-04-04-03
4. 先天性副腎（皮質）過形成を概説できる。#D-12-04-04-04

#### ■D-12-04-05. 糖代謝異常

1. 糖尿病の病因、病態生理、分類、症候と診断を説明できる。#D-12-04-05-01
2. 糖尿病の急性合併症を説明できる。#D-12-04-05-02
3. 糖尿病の慢性合併症を列挙し、概説できる。#D-12-04-05-03
4. 糖尿病の治療（食事療法、運動療法、薬物治療）を概説できる。#D-12-04-05-04
5. 低血糖症を概説できる。#D-12-04-05-05

#### ■D-12-04-06. 脂質代謝異常

1. 脂質異常症（高脂血症）の分類、病因と病態を説明できる。#D-12-04-06-01
2. 脂質異常症（高脂血症）の予防と治療を説明できる。#D-12-04-06-02

#### ■D-12-04-07. タンパク質及び核酸代謝異常

1. 血清タンパク質の異常を概説できる。#D-12-04-07-01
2. 高尿酸血症・痛風の病因と病態を説明できる。#D-12-04-07-02

#### ■D-12-04-08. ビタミン・微量元素の欠乏と過剰

1. ビタミン・微量元素の欠乏症と過剰症を概説できる。#D-12-04-08-01

#### ■D-12-04-09. 先天性代謝異常

1. ヘモクロマトーシスを概説できる。#D-12-04-09-01
2. ポルフィリアを概説できる。#D-12-04-09-02
3. Wilson 病を概説できる。#D-12-04-09-03

#### ■D-12-04-10. 腫瘍性疾患

1. 甲状腺腫瘍を分類し、症候、病理所見、治療法を説明できる。#D-12-04-10-01
2. 褐色細胞腫の病態、症候、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。#D-12-04-10-02
3. 神経芽腫を概説し、小児腹部固形腫瘍（腎芽腫、胚芽腫、奇形腫）との鑑別点を説明できる。#D-12-04-10-03

### D-13. 眼・視覚系

#### D-13-01. 構造と機能

1. 眼球と付属器の構造と機能を説明できる。#D-13-01-na-01

2. 視覚情報の受容のしくみと伝導路を説明できる。#D-13-01-na-02
3. 眼球運動のしくみを説明できる。#D-13-01-na-03
4. 対光反射、輻輳反射、角膜反射の機能を説明できる。#D-13-01-na-04

#### D-13-02. 診断と検査の基本

1. 基本的眼科検査（視力検査、視野検査、細隙灯顕微鏡検査、眼圧検査、眼底検査）を列挙し、それらの原理と適応を述べ、主要所見を解釈できる。#D-13-02-na-01

#### D-13-03. 症候

##### ■D-13-03-01. 眼・視覚系に関する主要症候

1. 眼・視覚系に関する主要症候（視力障害、視野異常、色覚異常、眼球運動障害、眼脂・眼の充血、飛蚊症、眼痛）を列挙し、それらの発生機序、原因疾患と治療を説明できる。#D-13-03-01-01

##### ■D-13-03-02. その他の症候

1. めまい #D-13-03-02-01
2. 頭痛・頭重感 #D-13-03-02-02
3. 悪心・嘔吐 #D-13-03-02-03

#### D-13-04. 疾患

##### ■D-13-04-01. 眼・視覚系の良性疾患

1. 屈折異常（近視、遠視、乱視）と調節障害の病態生理を説明できる。#D-13-04-01-01
2. 感染性角結膜疾患の症候、診断と治療を説明できる。#D-13-04-01-02
3. 白内障の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-13-04-01-03
4. 緑内障の病因を列挙し、それらの発症機序、症候と治療を説明できる。#D-13-04-01-04
5. 裂孔原性網膜剥離の症候、診断と治療を説明できる。#D-13-04-01-05
6. 糖尿病、高血圧・動脈硬化による眼底変化を説明できる。#D-13-04-01-06
7. ぶどう膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。#D-13-04-01-07
8. 視神経炎(症)・うっ血乳頭の病因、症候と診断を説明できる。#D-13-04-01-08
9. アルカリ、酸による化学損傷の症候と救急処置を説明できる。#D-13-04-01-09
10. 網膜静脈閉塞症と動脈閉塞症の症候、診断と治療を説明できる。#D-13-04-01-10

##### ■D-13-04-02. 腫瘍性疾患

1. 網膜芽細胞腫の症候、診断と治療を説明できる。#D-13-04-02-01

## D-14. 耳鼻・咽喉・口腔系

### D-14-01. 構造と機能

1. 外耳・中耳・内耳の構造を図示できる。#D-14-01-na-01
2. 聴覚・平衡覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。#D-14-01-na-02
3. 口腔・鼻腔・咽頭・喉頭の構造を図示できる。#D-14-01-na-03
4. 喉頭の機能と神経支配を説明できる。#D-14-01-na-04
5. 平衡感覚機構を眼球運動、姿勢制御と関連させて説明できる。#D-14-01-na-05
6. 味覚と嗅覚の受容のしくみと伝導路を説明できる。#D-14-01-na-06

### D-14-02. 診断と検査の基本

1. 聴力検査と平衡機能検査を説明できる。#D-14-02-na-01
2. 味覚検査と嗅覚検査を説明できる。#D-14-02-na-02

### D-14-03. 症候

#### ■D-14-03-01. 耳鼻・咽喉・口腔系に関する主要症候

1. 気道狭窄、難聴、鼻出血、咽頭痛、開口障害と反回神経麻痺（嚥声）をきたす疾患を列挙し、その病態を説明できる。#D-14-03-01-01

#### ■D-14-03-02. その他の症候

1. めまい #D-14-03-02-01
2. 嚥下障害・誤嚥 #D-14-03-02-02

### D-14-04. 疾患

#### ■D-14-04-01. 耳鼻・咽喉・口腔系の良性疾患

1. 滲出性中耳炎、急性中耳炎と慢性中耳炎の病因、診断と治療を説明できる。#D-14-04-01-01
2. 伝音難聴と感音難聴、迷路性と中枢性難聴を病態から鑑別し、治療を説明できる。#D-14-04-01-02
3. 末梢性めまいと中枢性めまいを鑑別し、治療を説明できる。#D-14-04-01-03
4. 良性発作性頭位眩暈症の症候、診断と治療を説明できる。#D-14-04-01-04
5. 鼻出血の好発部位と止血法を説明できる。#D-14-04-01-05
6. 副鼻腔炎（急性、慢性）の病態と治療を説明できる。#D-14-04-01-06
7. アレルギー性鼻炎の発症機構を説明できる。#D-14-04-01-07
8. 扁桃の炎症性疾患の病態と治療を説明できる。#D-14-04-01-08
9. 歯科疾患（う蝕、歯周病等）とその全身への影響や口腔機能管理を概説できる。#D-14-04-01-09



10. 気管切開の適応を説明できる。#D-14-04-01-10
11. 外耳道・鼻腔・咽頭・喉頭・食道の代表的な異物を説明し、除去法を説明できる。#D-14-04-01-11
12. 唾液腺疾患を列挙できる。#D-14-04-01-12

#### ■D-14-04-02. 腫瘍性疾患

1. 口腔・咽頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。  
#D-14-04-02-01
2. 喉頭癌について、病因、病期分類、検査所見、画像所見、病理所見、治療法を説明できる。#D-14-04-02-02

### D-15. 精神系

#### D-15-01. 診断と検査の基本

1. 患者-医師の良好な信頼関係に基づく精神科面接の基本を説明できる。#D-15-01-na-01
2. 精神科診断分類法を説明できる。#D-15-01-na-02
3. 精神科医療の法と倫理に関する必須項目（精神保健及び精神障害者福祉に関する法律、心神喪失者等医療観察法、インフォームド・コンセント）を説明できる。#D-15-01-na-03
4. コンサルテーション・リエゾン精神医学を説明できる。#D-15-01-na-04
5. 心理学的検査法（質問紙法、Rorschach テスト、簡易精神症状評価尺度 (Brief Psychiatric Rating Scale)、Hamilton うつ病評価尺度、Beck のうつ病自己評価尺度、状態特性不安検査 (State-Trait Anxiety Inventory)、Mini-Mental State Examination、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等）の種類と概要を説明できる。#D-15-01-na-05

#### D-15-02. 症候

1. 不安・躁うつをきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。#D-15-02-na-01
2. 意識障害、不眠、幻覚・妄想をきたす精神障害を列挙し、その鑑別診断を説明できる。#D-15-02-na-02
3. ストレスなどの心理社会的要因が症候（息苦しさ、心窩部痛、腹痛、頭痛、疲労、痒み、慢性疼痛等）に密接に関連している代表的な疾患を列挙し、その鑑別診断を説明できる。#D-15-02-na-03

#### D-15-03. 疾患・障害

1. 症状精神病の概念と診断を概説できる。#D-15-03-na-01
2. 認知症の診断と治療を説明できる。#D-15-03-na-02
3. 薬物使用に関連する精神障害やアルコール、ギャンブル等への依存症の病態と症候を説明できる。  
#D-15-03-na-03
4. 統合失調症の症候と診断、救急治療を説明できる。#D-15-03-na-04
5. うつ病の症候と診断を説明できる。#D-15-03-na-05
6. 双極性障害（躁うつ病）の症候と診断を説明できる。#D-15-03-na-06
7. 不安障害群と心的外傷及びストレス因関連障害群の症候と診断を説明できる。#D-15-03-na-07

8. 身体症状症及び関連症群、食行動障害及び摂食障害群の症候と診断を説明できる。#D-15-03-na-08
9. 解離性障害群の症候、診断と治療を説明できる。#D-15-03-na-09
10. パーソナリティ障害群を概説できる。#D-15-03-na-10
11. 知的能力障害群と自閉症スペクトラム障害 (autism spectrum disorder ) を概説できる。#D-15-03-na-11
12. 注意欠如・多動障害 (attention deficit / hyperactivity disorder ) と運動障害群を概説できる。#D-15-03-na-12

## E. 全身に及ぶ生理的变化、病態、診断、治療

### E-01. 遺伝医療・ゲノム医療

#### E-01-01. 遺伝医療・ゲノム医療と情報の特性

1. 集団遺伝学の基礎として Hardy-Weinberg の法則を概説できる。#E-01-01-na-01
2. 家系図を作成、評価 (Bayes の定理、リスク評価) できる。#E-01-01-na-02
3. 生殖細胞系列変異と体細胞変異の違いを説明でき、遺伝学的検査の目的と意義を概説できる。#E-01-01-na-03
4. 遺伝情報の特性 (不変性、予見性、共有性) を説明できる。#E-01-01-na-04
5. 遺伝カウンセリングの意義と方法を説明できる。#E-01-01-na-05
6. 遺伝医療における倫理的・法的・社会的配慮を説明できる。#E-01-01-na-06
7. 遺伝医学関連情報にアクセスすることができる。#E-01-01-na-07
8. 遺伝情報に基づく治療や予防をはじめとする適切な対処法を概説できる。#E-01-01-na-08

### E-02. 感染症

#### E-02-01. 病態

1. 敗血症の症候と診断と治療を説明できる。#E-02-01-na-01
2. 市中感染症と院内 (病院) 感染症を説明できる。#E-02-01-na-02
3. 医療器具関連感染症 (血管留置カテーテル、尿道カテーテル、人工呼吸器)、術後感染症、手術部位感染症、を説明できる。#E-02-01-na-03
4. 薬剤耐性 (antimicrobial resistance)、菌交代現象・菌交代症、薬剤耐性菌 (Methicillin-resistant *Staphylococcus aureus*、バンコマイシン耐性腸球菌 (vancomycin-resistant *Enterococci*)、基質特異性拡張型  $\beta$  ラクタマーゼ (extended spectrum beta-lactamase) 産生 Gram 陰性桿菌、多剤耐性アシネトバクター属菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌等) を概説できる。#E-02-01-na-04
5. コロナイゼーションと感染症発症の違いを説明できる。#E-02-01-na-05
6. コンプロマイズドホストと日和見感染症を説明できる。#E-02-01-na-06
7. 新興・再興感染症 (中東呼吸器症候群 (Middle East respiratory syndrome)、ジカ熱、劇症型 A 群レノンサ球菌感染症等)、人獣共通感染症、バイオテロに関連する感染症を列举できる。#E-02-01-na-07

#### E-02-02. 診断・検査・治療の基本

1. 各病原微生物、各感染臓器の診断の手がかりとなる病歴と身体所見を説明できる。#E-02-02-na-01
2. ウイルス感染症診断における抗原検査、核酸増幅検査、血清抗体検査を説明できる。#E-02-02-na-02
3. 細菌感染症診断における直接塗抹、Gram 染色、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査、血清抗体検査を説明できる #E-02-02-na-03
4. 真菌感染症診断における直接塗抹、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査を説明できる。#E-02-02-na-04
5. 病原微生物及び感染臓器ごとの適切な抗微生物薬を説明できる。#E-02-02-na-05
6. 抗菌薬適正使用 (antimicrobial stewardship ) を説明できる。#E-02-02-na-06
7. 予防接種について、適応と意義、種類とそれぞれの投与方法を説明できる。#E-02-02-na-07
8. 感染症法を概説できる。#E-02-02-na-08

#### E-02-03. 症候

1. ショック #E-02-03-na-01
2. 発熱 #E-02-03-na-02
3. けいれん #E-02-03-na-03
4. 意識障害・失神 #E-02-03-na-04
5. 脱水 #E-02-03-na-05
6. 全身倦怠感 #E-02-03-na-06
7. 黄疸 #E-02-03-na-07
8. 発疹 #E-02-03-na-08
9. リンパ節腫脹 #E-02-03-na-09
10. 浮腫 #E-02-03-na-10
11. 胸水 #E-02-03-na-11
12. 胸痛・胸部圧迫感 #E-02-03-na-12
13. 呼吸困難・息切れ #E-02-03-na-13
14. 咳・痰 #E-02-03-na-14
15. 血痰・咯血 #E-02-03-na-15
16. 頭痛・頭重感 #E-02-03-na-16
17. 腹痛 #E-02-03-na-17
18. 悪心、嘔吐 #E-02-03-na-18
19. 便秘・下痢・血便 #E-02-03-na-19
20. 吐血・下血 #E-02-03-na-20
21. 血尿・タンパク尿 #E-02-03-na-21
22. ②関節痛、関節腫脹 #E-02-03-na-22
23. ③腰背部痛 #E-02-03-na-23

## E-02-04. 疾患

### ■E-02-04-01. ウイルス感染症・プリオン病

1. インフルエンザの症候と診断と治療を説明できる。#E-02-04-01-01
2. 麻疹の症候と診断と合併症及び予防法を説明できる。#E-02-04-01-02
3. 風疹の症候と診断と合併症及び予防法を説明できる。#E-02-04-01-03
4. 水痘・带状疱疹の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。#E-02-04-01-04
5. 流行性耳下腺炎（ムンプス）の症候と診断と合併症及び予防法を説明できる。#E-02-04-01-05
6. ヒト免疫不全ウイルス感染症の症候と診断と治療及び感染対策を説明できる。#E-02-04-01-06
7. 単純ヘルペスウイルス感染症、伝染性紅斑、手足口病、突発性発疹、咽頭結膜熱、伝染性単核（球）症を説明できる。#E-02-04-01-07
8. サイトメガロウイルス感染症を説明できる。#E-02-04-01-08
9. ヒト T 細胞白血病ウイルス (human T-cell leukemia virus type 1 ) 感染症を説明できる。#E-02-04-01-09
10. プリオン病を説明できる。#E-02-04-01-10

### ■E-02-04-02. 細菌感染症

1. 黄色ブドウ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。#E-02-04-02-01
2. A 群β溶血性レンサ球菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。#E-02-04-02-02
3. 肺炎球菌感染症の症候と診断と治療と予防法を説明できる。#E-02-04-02-03
4. インフルエンザ（桿）菌感染症と *Moraxella catarrhalis* 感染症を説明できる。#E-02-04-02-04
5. 緑膿菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。#E-02-04-02-05
6. 大腸菌感染症の症候と診断と治療を説明できる。#E-02-04-02-06
7. *Clostridium difficile* 感染症の症候と診断と治療を説明できる。#E-02-04-02-07
8. 結核症、非結核性（非定型）抗酸菌症の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。#E-02-04-02-08
9. マイコプラズマ感染症を説明できる。#E-02-04-02-09
10. クラミジア感染症を説明できる。#E-02-04-02-10
11. レジオネラ感染症を説明できる。#E-02-04-02-11
12. リケッチア感染症を説明できる。#E-02-04-02-12
13. カンピロバクター、サルモネラ、リステリア感染症を説明できる。#E-02-04-02-13

### ■E-02-04-03. 真菌感染症と寄生虫症

1. カンジダ症、クリプトコックス症、アスペルギルス症の症候と診断と治療を説明できる。#E-02-04-03-01
2. ニューモシスチス肺炎の症候と診断と治療を説明できる。#E-02-04-03-02
3. 主な寄生虫感染症（回虫症、アニサキス症、吸虫症）を説明できる。#E-02-04-03-03
4. 主な原虫感染症（マラリア、トキソプラズマ症、アメーバ赤痢）を説明できる。#E-02-04-03-04

#### ■E-02-04-04. 性感染症

1. 性感染症の原因微生物を説明できる #E-02-04-04-01
2. 梅毒の症候と診断と治療を説明できる。#E-02-04-04-02
3. 淋菌感染症の診断と治療を説明できる。#E-02-04-04-03
4. 性器クラミジア、性器ヘルペス、尖圭コンジローマの診断と治療を説明できる。#E-02-04-04-04

#### ■E-02-04-05. 院内感染

1. 標準予防策 (standard precautions)、感染経路別予防策（飛沫感染予防策、接触感染予防策や空気感染予防策等）が必要となる病原微生物を説明できる。#E-02-04-05-01
2. 患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等を概説できる。#E-02-04-05-02
3. 医療従事者の体液曝露後の感染予防策を概説できる。#E-02-04-05-03

### E-03. 腫瘍

#### E-03-01. 定義・病態

1. 腫瘍の定義と病態を説明できる。#E-03-01-na-01
2. 腫瘍の症候を説明できる #E-03-01-na-02
3. 腫瘍のグレード、ステージを概説できる #E-03-01-na-03

#### E-03-02. 診断

1. 腫瘍の検査所見を説明できる。#E-03-02-na-01
2. 腫瘍の画像所見や診断を説明できる。#E-03-02-na-02
3. 腫瘍の病理所見や診断を説明できる。#E-03-02-na-03

#### E-03-03. 治療

1. 腫瘍の集学的治療を概説できる。#E-03-03-na-01
2. 腫瘍の手術療法を概説できる。#E-03-03-na-02
3. 腫瘍の放射線療法を概説できる。#E-03-03-na-03
4. 腫瘍の薬物療法（殺細胞性抗癌薬、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬）を概説できる。#E-03-03-na-04
5. 腫瘍の生物学的療法を概説できる。#E-03-03-na-05
6. 腫瘍における支持療法を概説できる。#E-03-03-na-06
7. 腫瘍における緩和ケアを概説できる。#E-03-03-na-07

#### E-03-04. 診療の基本的事項

1. 腫瘍の診療におけるチーム医療を概説できる。#E-03-04-na-01
2. 腫瘍の診療における生命倫理（バイオエシックス）を概説できる。#E-03-04-na-02
3. 腫瘍性疾患をもつ患者の置かれている状況を深く認識できる。#E-03-04-na-03

#### E-03-05. 各論

1. 血液・造血器・リンパ系：急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、成人 T 細胞白血病、真正赤血球増加症、本態性血小板血症、骨髄線維症、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫 #E-03-05-na-01
2. 神経系：脳・脊髄腫瘍、転移性脳腫瘍 #E-03-05-na-02
3. 皮膚系：皮膚良性腫瘍、皮膚悪性リンパ腫、血管肉腫、基底細胞上皮腫（癌）、扁平上皮癌、悪性黒色腫 #E-03-05-na-03
4. 運動器（筋骨格系）：転移性脊椎腫瘍、骨肉腫 #E-03-05-na-04
5. 循環器系：粘液腫 #E-03-05-na-05
6. 呼吸器系：肺癌、転移性肺腫瘍、縦隔腫瘍、胸膜中皮腫 #E-03-05-na-06
7. 消化器系：食道癌、胃癌、大腸ポリープ、大腸癌、胆嚢・胆管癌、原発性肝癌、膵内分泌腫瘍、嚢胞性膵腫瘍、膵癌 #E-03-05-na-07
8. 腎・尿路系：腎癌、膀胱癌を含む尿路上皮癌 #E-03-05-na-08
9. 生殖機能：前立腺癌、精巣腫瘍、子宮頸癌、子宮体癌（子宮内膜癌）、卵巣腫瘍（卵巣癌、卵巣嚢腫）、絨毛性疾患（胎状奇胎、絨毛癌） #E-03-05-na-09
10. 乳房：原発性乳癌 #E-03-05-na-10
11. 内分泌・栄養・代謝系：甲状腺腫瘍（腺腫様甲状腺腫、甲状腺癌）、褐色細胞腫 #E-03-05-na-11
12. 眼・視覚系：網膜芽細胞腫 #E-03-05-na-12
13. 耳鼻・咽喉・口腔系：舌癌、咽頭癌、喉頭癌 #E-03-05-na-13
14. 小児腫瘍：神経芽腫 #E-03-05-na-14

#### E-04. 免疫・アレルギー

##### E-04-01. 診断と検査の基本

1. 自己抗体の種類と臨床的意義を説明できる。#E-04-01-na-01

##### E-04-02. 症候

1. ショック #E-04-02-na-01
2. 発熱 #E-04-02-na-02
3. 全身倦怠感 #E-04-02-na-03
4. 発疹 #E-04-02-na-04
5. 貧血 #E-04-02-na-05
6. リンパ節腫脹 #E-04-02-na-06

7. 浮腫 #E-04-02-na-07
8. 呼吸困難・息切れ #E-04-02-na-08
9. 咳・痰 #E-04-02-na-09
10. 血尿・タンパク尿 #E-04-02-na-10
11. 関節痛・関節腫脹 #E-04-02-na-11

### E-04-03. 病態と疾患

#### ■E-04-03-01. 自己免疫疾患一般

1. 膠原病と自己免疫疾患を概説し、その種類を列挙できる。#E-04-03-01-01
2. 関節炎をきたす疾患を列挙できる。#E-04-03-01-02
3. 膠原病に特徴的な皮疹を説明し、関連する疾患を列挙できる。#E-04-03-01-03

#### ■E-04-03-02. 関節リウマチと類縁疾患

1. 関節リウマチの病態生理、症候、診断、治療とリハビリテーションを説明できる。#E-04-03-02-01
2. 関節リウマチの関節外症状を説明できる。#E-04-03-02-02
3. 成人 Still 病の症候、診断と治療を説明できる。#E-04-03-02-03
4. 若年性特発性関節炎 (juvenile idiopathic arthritis ) の特徴を説明できる。#E-04-03-02-04

#### ■E-04-03-03. 全身性エリテマトーデス (systemic lupus erythematosus )、抗リン脂質抗体症候群

1. 全身性エリテマトーデスの病態生理、症候、診断と治療を説明できる。#E-04-03-03-01
2. 全身性エリテマトーデスの合併症（神経精神全身性エリテマトーデス、ループス腎炎）を説明できる。  
#E-04-03-03-02
3. 抗リン脂質抗体症候群の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。#E-04-03-03-03

#### ■E-04-03-04. 全身性強皮症、皮膚筋炎・多発性筋炎、混合性結合組織病、Sjögren 症候群

1. 全身性強皮症の病態生理、分類、症候、診断及び臓器病変（特に肺・腎）を説明できる。#E-04-03-04-01
2. 皮膚筋炎・多発性筋炎の症候、診断、治療及び合併症（間質性肺炎、悪性腫瘍）を説明できる。#E-04-03-04-02
3. 混合性結合組織病を概説できる。#E-04-03-04-03
4. Sjögren 症候群を概説できる。#E-04-03-04-04

#### ■E-04-03-05. 全身性血管炎、Behçet 病、Kawasaki 病（急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群）

1. 全身性血管炎を分類/列挙し、その病態生理、症候、診断と治療を説明できる。#E-04-03-05-01
2. Behçet 病の症候、診断と治療を説明できる。#E-04-03-05-02

3. Kawasaki 病（急性熱性皮膚粘膜リンパ節症候群）の病態生理、症候、診断と治療を説明できる。  
#E-04-03-05-03

#### ■E-04-03-06. アレルギー性疾患

1. 主要な全身性アレルギー性疾患の分類と特徴を概説できる。#E-04-03-06-01
2. アナフィラキシーの症候、診断と治療を説明できる。#E-04-03-06-02
3. 食物アレルギーの種類、診断と治療を概説できる。#E-04-03-06-03

#### ■E-04-03-07. 原発性免疫不全症

1. 原発性免疫不全症の病態、診断と治療を概説できる。#E-04-03-07-01

### E-05. 物理・化学的因子による疾患

#### E-05-01. 診断と検査の基本

1. 中毒患者の検査と起因物質の分析を概説できる。#E-05-01-na-01

#### E-05-02. 症候

1. ショック #E-05-02-na-01
2. 発熱 #E-05-02-na-02
3. 意識障害・失神 #E-05-02-na-03
4. 脱水 #E-05-02-na-04
5. 黄疸 #E-05-02-na-05
6. 発疹 #E-05-02-na-06
7. 貧血 #E-05-02-na-07
8. 呼吸困難・息切れ #E-05-02-na-08
9. 運動麻痺・筋力低下 #E-05-02-na-09
10. 腹痛 #E-05-02-na-10
11. 悪心・嘔吐 #E-05-02-na-11
12. 便秘・下痢・血便 #E-05-02-na-12
13. 吐血・下血 #E-05-02-na-13
14. 尿量・排尿の異常 #E-05-02-na-14

#### E-05-03. 疾患

##### ■E-05-03-01. 中毒

1. 食中毒の病因、症候と予防法を説明できる。#E-05-03-01-01



2. 一酸化炭素中毒の発生機序、症候、診断と治療法を説明できる。#E-05-03-01-02
3. 有機リン剤、有機塩素剤と有機溶剤による中毒の機序、診断と治療を説明できる。#E-05-03-01-03
4. 重金属、青酸、ヒ素、パラコート、自然毒による中毒を概説できる。#E-05-03-01-04
5. アルコール、覚醒剤・麻薬・大麻などの乱用薬物による中毒を説明できる。#E-05-03-01-05
6. 医薬品による中毒を説明できる。#E-05-03-01-06

#### ■E-05-03-02. 環境要因等による疾患

1. 高温による障害（熱中症）を説明できる。#E-05-03-02-01
2. 寒冷による障害を説明できる。#E-05-03-02-02
3. 振動障害と騒音障害を説明できる。#E-05-03-02-03
4. 気圧による障害の原因や対処を説明できる。#E-05-03-02-04

#### ■E-05-03-03. 熱傷

1. 熱傷面積（9の法則）と深（達）度から熱傷の重症度を説明できる。#E-05-03-03-01
2. 熱傷の治療方針を概説できる。#E-05-03-03-02

### E-06. 放射線の生体影響と放射線障害

#### E-06-01. 生体と放射線

1. 放射線の種類と放射能、これらの性質・定量法・単位を説明できる。#E-06-01-na-01
2. 内部被ばくと外部被ばくについて、線量評価やその病態、症候、診断と治療を説明できる。#E-06-01-na-02
3. 放射線及び電磁波の人体（胎児を含む）への影響（急性影響と晩発影響）を説明できる。#E-06-01-na-03
4. 種々の正常組織の放射線の透過性や放射線感受性の違いを説明できる。#E-06-01-na-04
5. 磁気共鳴画像法で用いられている磁場や電磁波による人体や植え込みデバイスの発熱等の現象を概説できる。#E-06-01-na-05
6. 放射線の遺伝子、細胞への作用と放射線による細胞死の機序、局所的・全身的影響を説明できる。#E-06-01-na-06
7. 放射線被ばく低減の3原則と安全管理を説明できる。#E-06-01-na-07

#### E-06-02. 医療放射線と生体影響

1. 放射線診断やインターベンショナルラジオロジーの被ばく軽減の原則を知り、それを実行できる。#E-06-02-na-01
2. 放射線診断（エックス線撮影、コンピュータ断層撮影、核医学）や血管造影及びインターベンショナルラジオロジーの利益とコスト・リスク（被ばく線量、急性、晩発影響等）を知り、適応の有無を判断できる。#E-06-02-na-02
3. 放射線治療の生物学的原理と、人体への急性影響と晩発影響を説明できる。#E-06-02-na-03

4. 医療被ばくに関して、放射線防護と安全管理を説明できる。#E-06-02-na-04
5. 放射線診断や治療の被ばくに関して、患者にわかりやすく説明できる。#E-06-02-na-05

#### E-06-03. 放射線リスクコミュニケーション

1. 患者と家族が感じる放射線特有の精神的・社会的苦痛に対して十分に配慮できる。#E-06-03-na-01
2. 患者の漠然とした不安を受け止め、不安を軽減するためにわかりやすい言葉で説明でき、対話ができる。  
#E-06-03-na-02

#### E-06-04. 放射線災害医療

1. 内部被ばくと外部被ばくの病態、症候、線量評価、治療を説明できる。#E-06-04-na-01
2. 放射線災害・原子力災害でのメンタルヘルスを説明できる。#E-06-04-na-02

### E-07. 成長と発達

#### E-07-01. 胎児・新生児

1. 胎児の循環・呼吸の生理的特徴と出生時の変化を説明できる。#E-07-01-na-01
2. 主な先天性疾患を列举できる。#E-07-01-na-02
3. 新生児の生理的特徴を説明できる。#E-07-01-na-03
4. 胎児機能不全 (non-reassuring fetal status ) を説明できる。#E-07-01-na-04
5. 新生児仮死の病態を説明できる。#E-07-01-na-05
6. 新生児マススクリーニングを説明できる。#E-07-01-na-06
7. 新生児黄疸の鑑別と治療を説明できる。#E-07-01-na-07
8. 新生児期の呼吸障害の病因を列举できる。#E-07-01-na-08
9. 正常児・低出生体重児・病児の管理の基本を説明できる。#E-07-01-na-09
10. 低出生体重児固有の疾患を概説できる。#E-07-01-na-10

#### E-07-02. 乳幼児

1. 乳幼児の生理機能の発達を説明できる。#E-07-02-na-01
2. 乳幼児の正常な精神運動発達を説明できる。#E-07-02-na-02
3. 乳幼児の保育法・栄養法の基本を概説できる。#E-07-02-na-03
4. 乳幼児突然死症候群 (sudden infant death syndrome ) を説明できる。#E-07-02-na-04

#### E-07-03. 小児期全般

1. 小児の精神運動発達及び心身相関を説明できる。#E-07-03-na-01
2. 小児の栄養上の問題点を列举できる。#E-07-03-na-02
3. 小児免疫発達と感染症の関係を概説できる。#E-07-03-na-03
4. 小児保健における予防接種の意義と内容を説明できる。#E-07-03-na-04
5. 成長に関わる主な異常（小児心身症を含む）を列举できる。#E-07-03-na-05

6. 児童虐待を概説できる。#E-07-03-na-06
7. 小児の診断法と治療法における特徴を概説できる。#E-07-03-na-07
8. 神経発達障害群（自閉症スペクトラム障害、注意欠如・多動障害、限局性学習障害、チック障害群）を  
列挙できる。#E-07-03-na-08

#### E-07-04. 思春期

1. 思春期発現の機序と性徴を説明できる。#E-07-04-na-01
2. 思春期と関連した精神保健上の問題を列挙できる。#E-07-04-na-02
3. 移行期医療の現状と課題を説明できる。#E-07-04-na-03

### E-08. 加齢と老化

#### E-08-01. 老化と高齢者の特徴

1. 老化学説、老化制御、加齢に伴う臓器の構造的・機能的変化を説明でき、これによる予備能の低下等患者にもたらされる生理的変化を説明できる。#E-08-01-na-01
2. 高齢者総合機能評価 (comprehensive geriatric assessment) を実施できる。#E-08-01-na-02
3. 老年症候群（歩行障害・転倒、認知機能障害、排泄障害、栄養障害、摂食・嚥下障害等）の概念を説明できる。#E-08-01-na-03
4. フレイル、サルコペニア、ロコモティブ・シンドロームの概念、その対処法、予防が説明できる。  
#E-08-01-na-04
5. 認知症、うつ、せん妄の違いを説明し、それぞれの鑑別、初期対応を実施できる。#E-08-01-na-05
6. 歩行障害・転倒の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた転倒予防・リハビリテーションを説明できる。  
#E-08-01-na-06
7. 口腔機能低下、摂食・嚥下障害の評価、鑑別診断を行い、原因に応じた治療・リハビリテーション、予防を実施できる。#E-08-01-na-07
8. 高齢者の栄養マネジメントを説明できる。#E-08-01-na-08
9. 加齢に伴う薬物動態の変化、高齢者に対する薬物療法の注意点を説明でき、ポリファーマシーの是正等適切な介入が実施できる。#E-08-01-na-09
10. 高齢者の障害及び廃用症候群を説明でき、それらに対するリハビリテーションを説明できる。#E-08-01-na-10
11. 高齢者の退院支援と介護保険制度を説明できる。#E-08-01-na-11
12. 高齢者の人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）を説明できる。#E-08-01-na-12

### E-09. 人の死

#### E-09-01. 生物的死と社会的死

1. 死の概念と定義や生物学的な個体の死を説明できる。#E-09-01-na-01
2. 植物状態と脳死の違いを説明できる。#E-09-01-na-02
3. 内因死と外因死について違いと内容を説明できる。#E-09-01-na-03

4. 突然死の定義を説明でき、突然死を来しうる疾患（乳幼児突然死症候群を含む）を列挙できる。#E-09-01-na-04
5. 診療関連死を説明できる。#E-09-01-na-05
6. 死に至る身体と心の過程を説明できる。その個別性にも共感配慮できる。#E-09-01-na-06
7. 人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での患者とのコミュニケーション、頻度の高い苦痛とその対処法・ケアを説明できる。#E-09-01-na-07
8. 水・補液、栄養管理を含む人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）と小児の特殊性を説明できる。#E-09-01-na-08
9. 人生の最終段階における医療（エンド・オブ・ライフ・ケア）での本人の意思決定、事前指示、延命治療、Do not attempt resuscitation、尊厳死と安楽死、治療の中止と差し控えの概念を説明できる。#E-09-01-na-09
10. 患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。#E-09-01-na-10

## F. 診療の基本

### F-01. 症候・病態からのアプローチ

#### F-01-01. 発熱

1. 発熱の原因と病態生理を説明できる。#F-01-01-na-01
2. 発熱をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-01-na-02
3. 発熱がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-01-na-03

#### F-01-02. 全身倦怠感

1. 全身倦怠感の原因と病態生理を説明できる。#F-01-02-na-01
2. 全身倦怠感をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-02-na-02
3. 全身倦怠感がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-02-na-03

#### F-01-03. 食思（欲）不振

1. 食思（欲）不振の原因と病態生理を説明できる。#F-01-03-na-01
2. 食思（欲）不振をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-03-na-02
3. 食思（欲）不振がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-03-na-03

#### F-01-04. 体重減少・体重増加

1. 体重減少・体重増加の原因と病態生理を説明できる。#F-01-04-na-01
2. 体重減少・体重増加をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-04-na-02
3. 体重減少・体重増加がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-04-na-03

#### F-01-05. ショック

1. ショックの原因と病態生理を説明できる。#F-01-05-na-01
2. ショックをきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-05-na-02
3. ショック状態にある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-05-na-03

#### F-01-06. 心停止

1. 心停止の原因と病態生理を説明できる。#F-01-06-na-01
2. 心停止をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-06-na-02
3. 心停止患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-06-na-03

#### F-01-07. 意識障害・失神

1. 意識障害・失神の原因と病態生理を説明できる。#F-01-07-na-01
2. 意識障害・失神をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-07-na-02
3. 意識障害・失神がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-07-na-03

#### F-01-08. けいれん

1. けいれんの原因と病態生理を説明できる。#F-01-08-na-01
2. けいれんをきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-08-na-02
3. けいれんがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-08-na-03

#### F-01-09. めまい

1. めまいの原因と病態生理を説明できる。#F-01-09-na-01
2. めまいをきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-09-na-02
3. めまいがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-09-na-03

#### F-01-10. 脱水

1. 脱水の原因と病態生理を説明できる。#F-01-10-na-01
2. 脱水をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-10-na-02
3. 脱水がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-10-na-03

#### F-01-11. 浮腫

1. 浮腫の原因と病態生理を説明できる。#F-01-11-na-01
2. 浮腫をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-11-na-02

3. 浮腫がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-11-na-03

#### F-01-12. 発疹

1. 発疹の原因と病態生理を説明できる。#F-01-12-na-01
2. 発疹をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-12-na-02
3. 発疹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-12-na-03

#### F-01-13. 咳・痰

1. 咳・痰の原因と病態生理を説明できる。#F-01-13-na-01
2. 咳・痰をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-13-na-02
3. 咳・痰がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-13-na-03

#### F-01-14. 血痰・咯血

1. 血痰・咯血の原因と病態生理を説明できる。#F-01-14-na-01
2. 血痰・咯血をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-14-na-02
3. 血痰・咯血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-14-na-03

#### F-01-15. 呼吸困難

1. 呼吸困難の原因と病態生理を説明できる。#F-01-15-na-01
2. 呼吸困難をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-15-na-02
3. 呼吸困難がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-15-na-03

#### F-01-16. 胸痛

1. 胸痛の原因と病態生理を説明できる。#F-01-16-na-01
2. 胸痛をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-16-na-02
3. 胸痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-16-na-03

#### F-01-17. 動悸

1. 動悸の原因と病態生理を説明できる。#F-01-17-na-01
2. 動悸をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-17-na-02
3. 動悸がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-17-na-03

#### F-01-18. 胸水

1. 胸水の原因と病態生理を説明できる。#F-01-18-na-01
2. 胸水をきたす疾患(群)を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-18-na-02
3. 胸水がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-18-na-03

#### F-01-19. 嚥下困難・障害

1. 嚥下困難・障害の原因と病態生理を説明できる。#F-01-19-na-01
2. 嚥下困難・障害をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-19-na-02
3. 嚥下困難・障害がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-19-na-03

#### F-01-20. 腹痛

1. 腹痛の原因と病態生理を説明できる。#F-01-20-na-01
2. 腹痛をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-20-na-02
3. 腹痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-20-na-03

#### F-01-21. 悪心・嘔吐

1. 悪心・嘔吐の原因と病態生理を説明できる。#F-01-21-na-01
2. 悪心・嘔吐をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-21-na-02
3. 悪心・嘔吐がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-21-na-03

#### F-01-22. 吐血・下血

1. 吐血・下血の原因と病態生理を説明できる。#F-01-22-na-01
2. 吐血・下血をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-22-na-02
3. 吐血・下血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-22-na-03

#### F-01-23. 便秘・下痢

1. 便秘・下痢の原因と病態生理を説明できる。#F-01-23-na-01
2. 便秘・下痢をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-23-na-02
3. 便秘・下痢がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-23-na-03

#### F-01-24. 黄疸

1. 黄疸の原因と病態生理を説明できる。#F-01-24-na-01
2. 黄疸をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-24-na-02
3. 黄疸がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-24-na-03

#### F-01-25. 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤

1. 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤の原因と病態生理を説明できる。#F-01-25-na-01
2. 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘤をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-25-na-02

3. 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘍がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-25-na-03

#### F-01-26. 貧血

1. 貧血の原因と病態生理を説明できる。#F-01-26-na-01
2. 貧血をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-26-na-02
3. 貧血がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-26-na-03

#### F-01-27. リンパ節腫脹

1. リンパ節腫脹の原因と病態生理を説明できる。#F-01-27-na-01
2. リンパ節腫脹をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-27-na-02
3. リンパ節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-27-na-03

#### F-01-28. 尿量・排尿の異常

1. 尿量・排尿の異常の原因と病態生理を説明できる。#F-01-28-na-01
2. 尿量・排尿の異常をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-28-na-02
3. 尿量・排尿の異常がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-28-na-03

#### F-01-29. 血尿・蛋白タンパク尿

1. 血尿・タンパク尿の原因と病態生理を説明できる。#F-01-29-na-01
2. 血尿・タンパク尿をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-29-na-02
3. 血尿・タンパク尿がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-29-na-03

#### F-01-30. 月経異常

1. 月経異常の原因と病態生理を説明できる。#F-01-30-na-01
2. 月経異常をきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-30-na-02
3. 月経異常がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-30-na-03

#### F-01-31. 不安・抑うつ

1. 不安・抑うつの原因と病態生理を説明できる。#F-01-31-na-01
2. 不安・抑うつをきたす疾患（群）を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-31-na-02
3. 不安・抑うつがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-31-na-03



#### F-01-32. もの忘れ

1. もの忘れの原因と病態生理を説明できる。#F-01-32-na-01
2. もの忘れをきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-32-na-02
3. もの忘れがある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-32-na-03

#### F-01-33. 頭痛

1. 頭痛の原因と病態生理を説明できる。#F-01-33-na-01
2. 頭痛をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-33-na-02
3. 頭痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-33-na-03

#### F-01-34. 運動麻痺・筋力低下

1. 運動麻痺・筋力低下の原因と病態生理を説明できる。#F-01-34-na-01
2. 運動麻痺・筋力低下をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-34-na-02
3. 運動麻痺・筋力低下がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-34-na-03

#### F-01-35. 腰背部痛

1. 腰背部痛の原因と病態生理を説明できる。#F-01-35-na-01
2. 腰背部痛をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-35-na-02
3. 腰背部痛がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-35-na-03

#### F-01-36. 関節痛・関節腫脹

1. 関節痛・関節腫脹の原因と病態生理を説明できる。#F-01-36-na-01
2. 関節痛・関節腫脹をきたす疾患 (群) を列挙し、診断の要点を説明できる。#F-01-36-na-02
3. 関節痛・関節腫脹がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-36-na-03

#### F-01-37. 外傷・熱傷

1. 外傷・熱傷の病態生理を説明できる。#F-01-37-na-01
2. 外傷・熱傷の診断の要点を説明できる。#F-01-37-na-02
3. 外傷・熱傷がある患者の治療の要点を説明し、専門的治療が必要な状態を概説できる。#F-01-37-na-03

### F-02. 基本的診療知識

#### F-02-01. 臨床推論

1. 問題の同定から治療やマネジメントに至るプロセスを列挙できる。#F-02-01-na-01

2. 情報収集には医療面接、身体診察、検査の3つの方法があることを説明できる。#F-02-01-na-02
3. 診断仮説を想起するためには、解剖学、病理学、生理学、生化学等の基礎医学や疾患頻度が重要であることを説明できる。#F-02-01-na-03
4. 診断仮説を検証するために、診断仮説に基づいた情報収集を実施できる。#F-02-01-na-04
5. 診断過誤の原因とその防止法を説明できる。#F-02-01-na-05
6. 状況に応じ、診断プロセスと治療やマネジメントが並行して行われることが説明できる。#F-02-01-na-06
7. 治療やマネジメントに関して意思決定するために、患者側と情報共有や摺り合わせをすることができる。#F-02-01-na-07
8. コンサルテーションや紹介の必要な状況を説明できる。#F-02-01-na-08

#### F-02-02. 根拠に基づいた医療

1. 根拠に基づいた医療の5つのステップを列挙できる。#F-02-02-na-01
2. 現場で遭遇した臨床上の問題に関し、PICO (PECO) を用いた問題の定式化ができる。#F-02-02-na-02
3. 研究デザイン（観察研究（記述研究、横断研究、症例対照研究、コホート研究）、介入研究（臨床研究、ランダム化比較試験）、システマティックレビュー、メタ分析（メタアナリシス）を概説できる。  
#F-02-02-na-03
4. データベースや二次文献からのエビデンス、診療ガイドラインを検索することができる。#F-02-02-na-04
5. 得られた情報の批判的吟味ができる。#F-02-02-na-05
6. 診療ガイドラインの種類と使用上の注意を列挙できる。#F-02-02-na-06
7. 診療ガイドラインの推奨の強さについて違いを述べるができる。#F-02-02-na-07

#### F-02-03. 臨床検査

1. 臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。#F-02-03-na-01
2. 臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。#F-02-03-na-02
3. 臨床検査の安全な実施方法（患者確認と検体確認、検査の合併症、感染症予防、精度管理）を説明できる。#F-02-03-na-03
4. 臨床検査の特性（感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率（事前確率）・検査後確率（事後確率）、尤度比、receiver operating characteristic 曲線）と判定基準（基準値・基準範囲、カットオフ値、パニック値）を説明できる。#F-02-03-na-04
5. 臨床検査の生理的変動、測定誤差、精度管理、ヒューマンエラーを説明できる。#F-02-03-na-05
6. 小児、高齢者、妊産婦の検査値特性を説明し、結果を解釈できる。#F-02-03-na-06
7. 病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。#F-02-03-na-07
8. 血算、凝固・線溶検査、尿・糞便検査、生化学検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。#F-02-03-na-08
9. 染色体・遺伝子検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。#F-02-03-na-09
10. 病理組織検査、細胞診検査、フローサイトメトリの意義を説明できる。#F-02-03-na-10
11. 免疫血清学検査、輸血検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。#F-02-03-na-11

12. 生体機能検査（心電図、心臓機能検査、呼吸機能検査、超音波検査、内分泌・代謝機能検査、脳波検査、針筋電図検査、末梢神経伝導検査）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。#F-02-03-na-12
13. 細菌学検査（細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。  
#F-02-03-na-13
14. 動脈血ガス分析、経皮的酸素飽和度モニターの目的と適応を説明し、結果を解釈できる。#F-02-03-na-14
15. 脳脊髄液・胸水・腹水検査の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。#F-02-03-na-15

#### F-02-04. 病理診断

1. 病理診断、細胞診の適切な検体の取扱い、標本作製及び診断過程が説明できる。#F-02-04-na-01
2. 診断に必要な臨床情報の適切な提供法を説明できる。#F-02-04-na-02
3. 術中迅速診断の利点、欠点を説明できる。#F-02-04-na-03
4. デジタル画像を用いた病理診断（遠隔診断を含む）の利点、欠点を説明できる。#F-02-04-na-04
5. 病理解剖の医療における位置付けと法的事項、手続等を説明できる。#F-02-04-na-05

#### F-02-05. 放射線等を用いる診断と治療

1. エックス線撮影、コンピュータ断層撮影、磁気共鳴画像法と核医学検査の原理を説明できる。#F-02-05-na-01
2. エックス線撮影、コンピュータ断層撮影、磁気共鳴画像法と核医学検査の読影の基本を説明できる。  
#F-02-05-na-02
3. 放射線治療の原理を説明し、主な放射線治療法を列挙できる。#F-02-05-na-03
4. 放射線診断・治療による利益と不利益を説明できる。#F-02-05-na-04
5. インターベンショナルラジオロジー（画像誘導下治療）を概説できる。#F-02-05-na-05

#### F-02-06. 内視鏡を用いる診断と治療

1. 内視鏡機器の種類と原理を説明できる。#F-02-06-na-01
2. 内視鏡検査法の種類を列挙し、概説できる。#F-02-06-na-02
3. 内視鏡を用いる治療を概説できる。#F-02-06-na-03

#### F-02-07. 超音波を用いる診断と治療

1. 超音波機器の種類と原理を説明できる。#F-02-07-na-01
2. 超音波検査法の種類を列挙し、概説できる。#F-02-07-na-02
3. 主な疾患、病態のエコー像を概説できる。#F-02-07-na-03
4. 超音波を用いる治療を概説できる。#F-02-07-na-04
5. 超音波の生体作用と安全性を説明できる。#F-02-07-na-05
6. 超音波造影法を説明できる。#F-02-07-na-06

## F-02-08. 薬物治療の基本原則

1. 薬物（オピオイドを含む）の蓄積、耐性、タキフィラキシー、依存、習慣性や嗜癖を説明できる。  
#F-02-08-na-01
2. 主な薬物アレルギーの症候、診察、診断を列挙し、予防策と対処法を説明できる。#F-02-08-na-02
3. 薬物によるアナフィラキシーショックの症候、診断、対処法を説明できる。#F-02-08-na-03
4. 各臓器系統（中枢・末梢神経、循環器、呼吸器、消化器、腎泌尿器、血液、内分泌等）に作用する薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。#F-02-08-na-04
5. 抗微生物薬の薬理作用、適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。#F-02-08-na-05
6. 抗腫瘍薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。#F-02-08-na-06
7. 麻薬性鎮痛薬・鎮静薬の適応、有害事象、投与時の注意事項を説明できる。#F-02-08-na-07
8. 主な薬物の有害事象を概説できる。#F-02-08-na-08
9. 年齢や臓器障害に応じた薬物動態の特徴を考慮して薬剤投与の注意点を説明できる。#F-02-08-na-09
10. 薬物動態的相互作用について例を挙げて説明できる。#F-02-08-na-10
11. 処方箋の書き方、服薬の基本・アドヒアランスを説明できる。#F-02-08-na-11
12. 分子標的薬の薬理作用と有害事象を説明できる。#F-02-08-na-12
13. 漢方医学の特徴や、主な和漢薬（漢方薬）の適応、薬理作用を概説できる。#F-02-08-na-13
14. ポリファーマシー、使用禁忌、特定条件下での薬物使用（アンチ・ドーピング等）を説明できる。  
#F-02-08-na-14

## F-02-09. 外科的治療と周術期管理

### ■F-02-09-01. 外科的治療

1. 清潔の概念と必要性を説明できる。#F-02-09-01-01
2. 手洗いの意味と手技を説明できる。#F-02-09-01-02
3. ガウンテクニックの必要性和手技を説明できる。#F-02-09-01-03
4. 創傷治癒のメカニズムを説明できる。#F-02-09-01-04
5. 消毒の意味と方法を説明でき、被覆材の種類と適応、効果を説明できる。#F-02-09-01-05
6. 外科的治療の適応と合併症を説明できる。#F-02-09-01-06

### ■F-02-09-02. 周術期管理

1. 手術の危険因子を列挙し、その対応の基本を説明できる。#F-02-09-02-01
2. 基本的バイタルサイン（体温、呼吸、脈拍、血圧）の意義とモニターの方法を説明できる。#F-02-09-02-02
3. 主な術後合併症を列挙し、その予防の基本を説明できる。#F-02-09-02-03
4. 手術に関するインフォームド・コンセントの注意点を列挙できる。#F-02-09-02-04
5. 周術期管理における事前のリスク評価を説明できる。#F-02-09-02-05
6. 周術期における主な薬剤の服薬管理（継続、中止等）の必要性和それに伴うリスクの基本を説明できる。  
#F-02-09-02-06

7. 周術期管理における輸液・輸血の基本を説明できる。#F-02-09-02-07
8. 術後痛の管理を説明できる。#F-02-09-02-08
9. 術後回復室の役割を概説できる。#F-02-09-02-09
10. 集中治療室の役割を概説できる。#F-02-09-02-10

#### F-02-10. 麻酔

1. 麻酔の概念、種類と麻酔時の生体反応を説明できる。#F-02-10-na-01
2. 麻酔管理を安全に行うための術前評価と呼吸管理を概説できる。#F-02-10-na-02
3. 麻酔薬と筋弛緩薬の種類と使用上の原則を説明できる。#F-02-10-na-03
4. 吸入麻酔と静脈麻酔の適応、禁忌、方法、事故と合併症を概説できる。#F-02-10-na-04
5. 気管挿管を含む各種の気道確保法を概説できる。#F-02-10-na-05
6. 局所麻酔、末梢神経ブロック、神経叢ブロック、脊髄くも膜下麻酔、硬膜外麻酔の適応、禁忌と合併症を概説できる。#F-02-10-na-06
7. 安全な麻酔のためのモニタリングの方法、重要な異常所見と対処法を概説できる。#F-02-10-na-07
8. 悪性高熱症や神経筋疾患患者における麻酔管理上の注意点を概説できる。#F-02-10-na-08

#### F-02-11. 食事・栄養療法と輸液療法

1. 食行動、食事摂取基準、食事バランス、日本食品標準成分表、補助食品、食物繊維・プロバイオティクス・プレバイオティクスを概説できる。#F-02-11-na-01
2. 栄養アセスメント、栄養ケア・マネジメント、栄養サポートチーム (nutrition support team)、疾患別の栄養療法を説明できる。#F-02-11-na-02
3. 各種補液製剤（ビタミン、微量元素を含む）の特徴と病態に合わせた適応、投与時の注意事項を説明できる。#F-02-11-na-03
4. 経静脈栄養と経管・経腸栄養の適応、方法と合併症、長期投与時の注意事項を説明できる。#F-02-11-na-04
5. 乳幼児と小児の輸液療法を説明できる。#F-02-11-na-05

#### F-02-12. 医療機器と人工臓器

1. 主な医療機器の種類と原理を概説できる。#F-02-12-na-01
2. 主な人工臓器の種類と原理を概説できる。#F-02-12-na-02

#### F-02-13. 輸血と移植

1. 血液製剤及び血漿分画製剤の種類と適応を説明できる。#F-02-13-na-01
2. 血液型 (ABO、RhD) 検査、血液交差適合 (クロスマッチ) 試験、不規則抗体検査を説明できる。#F-02-13-na-02
3. 輸血副反応、輸血使用記録保管義務、不適合輸血の防止手順を説明できる。#F-02-13-na-03
4. 輸血の適正使用、成分輸血、自己血輸血、緊急時の輸血を説明できる。#F-02-13-na-04
5. 臓器移植、造血幹細胞移植の種類と適応を説明できる。#F-02-13-na-05

6. 移植と組織適合性の関係を説明できる。#F-02-13-na-06
7. 移植後の拒絶反応、移植片対宿主病の病態生理と発症時の対応を説明できる。#F-02-13-na-07
8. 免疫抑制薬の種類、適応と副作用を説明できる。#F-02-13-na-08

#### F-02-14. リハビリテーション

1. リハビリテーションの概念と適応（心大血管疾患、呼吸器疾患、癌等の内部障害を含む）を説明できる。  
#F-02-14-na-01
2. リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。#F-02-14-na-02
3. 福祉・介護との連携におけるリハビリテーションの役割を説明できる。#F-02-14-na-03
4. 障害を国際生活機能分類の心身機能・身体構造、活動、参加に分けて説明できる。#F-02-14-na-04
5. 機能障害と日常生活動作（activities of daily living）の評価ができる。#F-02-14-na-05
6. 理学療法、作業療法と言語聴覚療法を概説できる。#F-02-14-na-06
7. 主な歩行補助具、車椅子、義肢（義手、義足）と装具を概説できる。#F-02-14-na-07

#### F-02-15. 在宅医療と介護

1. 在宅医療の在り方、今後の必要性和課題を概説できる。#F-02-15-na-01
2. 在宅医療における多職種連携の重要性を説明できる。#F-02-15-na-02
3. 褥瘡の予防、評価、処置・治療及びチーム医療の重要性を説明できる。#F-02-15-na-03
4. 在宅における人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題を概説できる。#F-02-15-na-04
5. 介護の定義と種類を説明できる。#F-02-15-na-05
6. 日常生活動作（排泄、摂食、入浴等）に応じた介護と環境整備の要点を概説できる。#F-02-15-na-06
7. 地域包括ケアシステムと介護保険制度、障害者総合支援法等の医療保健福祉制度を概説できる。  
#F-02-15-na-07

#### F-02-16. 緩和ケア

1. 緩和ケア（緩和ケアチーム、ホスピス、緩和ケア病棟、在宅緩和ケアを含む）を概説できる。#F-02-16-na-01
2. 全人的苦痛を説明できる。#F-02-16-na-02
3. 緩和ケアにおいて頻度の高い身体的苦痛、心理社会的苦痛を列挙することができる。#F-02-16-na-03
4. 疼痛のアセスメント、疼痛緩和の薬物療法、癌疼痛治療法を説明できる。#F-02-16-na-04
5. オピオイドの適応と課題を説明できる。#F-02-16-na-05
6. 緩和ケアにおける患者・家族の心理を説明できる。#F-02-16-na-06

### F-03. 基本的診療技能

#### F-03-01. 問題志向型システムと臨床推論

1. 基本的診療知識に基づき、症例に関する情報を収集・分析できる。#F-03-01-na-01
2. 得られた情報を基に、その症例の問題点を抽出できる。#F-03-01-na-02

3. 病歴と身体所見等の情報を統合して、鑑別診断ができる。#F-03-01-na-03
4. 主要疾患の症例に関して、診断・治療計画を立案できる。#F-03-01-na-04

#### F-03-02. 医療面接

1. 適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。#F-03-02-na-01
2. 医療面接における基本的コミュニケーション技法を用いることができる。#F-03-02-na-02
3. 病歴（主訴、現病歴、常用薬、アレルギー歴、既往歴、家族歴、嗜好、生活習慣、社会歴・職業歴、生活環境、家庭環境、海外渡航歴、システムレビュー）を聴き取り、情報を取捨選択し整理できる。  
#F-03-02-na-03
4. 診察時に患者に適切な体位（立位、座位、半座位、臥位、砕石位）を説明できる。#F-03-02-na-04
5. 診察で得た所見、診断、必要な検査を上級医に説明、報告できる。#F-03-02-na-05

#### F-03-03. 診療録（カルテ）

1. 適切に患者の情報を収集し、問題志向型医療記録を作成できる。#F-03-03-na-01
2. 診療経過を主観的所見・客観的所見・評価・計画で記載できる。#F-03-03-na-02
3. 症例を適切に要約する習慣を身に付け、状況に応じて提示できる。#F-03-03-na-03
4. プライバシー保護とセキュリティに充分配慮できる。#F-03-03-na-04

#### F-03-04. 臨床判断

1. 臨床疫学的指標（感度・特異度、尤度比等）を考慮して、必要十分な検査を挙げ、症例における検査結果の臨床的意義を解釈できる。#F-03-04-na-01
2. 科学的根拠に基づいた治療法を述べることができる。#F-03-04-na-02

#### F-03-05. 身体診察

##### ■F-03-05-01. 基本事項

1. 患者の立場を尊重し、信頼を得ることができる。#F-03-05-01-01
2. 患者の安全を重視し、有害事象が生じた場合は適切に対応ができる。#F-03-05-01-02
3. 患者のプライバシー、羞恥心、苦痛に配慮し、個人情報等を守秘できる。#F-03-05-01-03
4. 感染を予防するため、診察前後の標準予防策 (standard precautions) ができる。#F-03-05-01-04
5. 身だしなみ、言葉遣い及び態度等に気を配ることができる。#F-03-05-01-05
6. 患者の状態から診察が可能かどうかを判断し、状態に応じた診察ができる。#F-03-05-01-06

##### ■F-03-05-02. 全身状態とバイタルサイン

1. 身長・体重を測定し、body mass index の算出、栄養状態を評価できる。#F-03-05-02-01
2. 上腕で触診、聴診法により血圧を測定できる。#F-03-05-02-02
3. 両側の橈骨動脈で脈拍を診察できる。#F-03-05-02-03

4. 呼吸数を測定し、呼吸の異常の有無を確認できる。#F-03-05-02-04
5. 腋窩で体温を測定できる。#F-03-05-02-05
6. 下肢の動脈の触診等、下腿の血圧測定（触診法）、大腿の血圧測定（聴診法）を実施できる。#F-03-05-02-06
7. 全身の外観（体型、栄養、姿勢、歩行、顔貌、皮膚、発声）を評価できる。#F-03-05-02-07

#### ■F-03-05-03. 頭頸部

1. 頭部（顔貌、頭髪、頭皮、頭蓋）の診察ができる。#F-03-05-03-01
2. 眼（視野、瞳孔、対光反射、眼球運動・突出、結膜）の診察ができる。#F-03-05-03-02
3. 耳（耳介、聴力）の診察ができる。#F-03-05-03-03
4. 耳鏡で外耳道、鼓膜を観察できる。#F-03-05-03-04
5. 音叉を用いて聴力試験を実施できる。#F-03-05-03-05
6. 口唇、口腔、咽頭、扁桃の診察ができる。#F-03-05-03-06
7. 鼻腔、副鼻腔の診察ができる。#F-03-05-03-07
8. 鼻鏡を用いて前鼻腔を観察できる。#F-03-05-03-08
9. 甲状腺、頸部血管、気管、唾液腺の診察ができる。#F-03-05-03-09
10. 頭頸部リンパ節の診察ができる。#F-03-05-03-10

#### ■F-03-05-04. 胸部

1. 胸部の視診、触診、打診ができる。#F-03-05-04-01
2. 呼吸音と副雑音の聴診ができる。#F-03-05-04-02
3. 心音と心雑音の聴診ができる。#F-03-05-04-03
4. 背部の叩打痛を確認できる。#F-03-05-04-04
5. 乳房の診察を実施できる（シミュレータでも可とする）。#F-03-05-04-05

#### ■F-03-05-05. 腹部

1. 腹部の視診、聴診ができる。#F-03-05-05-01
2. 区分に応じて腹部の打診、触診ができる。#F-03-05-05-02
3. 圧痛、腹膜刺激徴候、筋性防御の有無を判断できる。#F-03-05-05-03
4. 腹水の有無を判断できる。#F-03-05-05-04
5. 腸雑音、血管雑音の聴診ができる。#F-03-05-05-05
6. 直腸（前立腺を含む）指診を実施できる（シミュレータでも可とする）。#F-03-05-05-06

#### ■F-03-05-06. 神経

1. 意識レベルを判定できる。#F-03-05-06-01
2. 脳神経系の診察ができる（眼底検査を含む）。#F-03-05-06-02
3. 腱反射の診察ができる。#F-03-05-06-03



4. 小脳機能・運動系の診察ができる。#F-03-05-06-04
5. 感覚系（痛覚、温度覚、触覚、深部感覚）の診察ができる。#F-03-05-06-05
6. 髄膜刺激所見（項部硬直、Kernig 徴候）を確認できる。#F-03-05-06-06

#### ■F-03-05-07. 四肢と脊柱

1. 四肢と脊柱（彎曲、疼痛）の診察ができる。#F-03-05-07-01
2. 関節（可動域、腫脹、疼痛、変形）の診察ができる。#F-03-05-07-02
3. 筋骨格系の診察（徒手筋力テスト）ができる。#F-03-05-07-03

#### ■F-03-05-08. 小児の診察

1. 主訴からの診断推論を組み立てられる、又はたどることができる。#F-03-05-08-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#F-03-05-08-02
3. 治療の立案・実施に可能な範囲で参加できる。#F-03-05-08-03
4. 保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加できる。#F-03-05-08-04
5. 小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加できる。#F-03-05-08-05
6. 基本的な小児科診察ができる。#F-03-05-08-06
7. どのように小児科にコンサルテーションすればよいか説明できる。#F-03-05-08-07

### F-03-06. 基本的臨床手技

#### ■F-03-06-01. 一般手技

1. 皮膚消毒を実施できる。#F-03-06-01-01
2. 静脈採血をシミュレータで実施できる。#F-03-06-01-02
3. 手指衛生等の標準予防策 (standard precautions) を実施できる。#F-03-06-01-03

#### ■F-03-06-02. 検査手技

1. 尿検査（尿沈渣を含む）を実施できる。#F-03-06-02-01
2. 末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。#F-03-06-02-02
3. 微生物学検査（Gram 染色を含む）を実施できる。#F-03-06-02-03
4. 12 誘導心電図を記録できる。#F-03-06-02-04
5. 経皮的酸素飽和度を測定できる。#F-03-06-02-05

#### ■F-03-06-03. 外科手技

1. 無菌操作を実施できる。#F-03-06-03-01
2. 手術や手技のための手洗いができる。#F-03-06-03-02

3. 手術室におけるガウンテクニックができる。#F-03-06-03-03

#### ■F-03-06-04. 救命処置

1. 緊急性の高い状況かどうかをある程度判断できるようになる。#F-03-06-04-01
2. 一次救命処置を実施できる。#F-03-06-04-02

## G. 臨床実習

### G-01. 診療の基本

#### G-01-01. 臨床実習

##### ■G-01-01-01. 医師として求められる基本的な資質・能力（A 参照）

1. 「A 医師として求められる基本的な資質・能力」（以下、再掲）を常に意識しながら、臨床実習を行う。  
#G-01-01-01-01
2. プロフェッショナリズム #G-01-01-01-02
3. 医学知識と問題対応能力 #G-01-01-01-03
4. 診療技能と患者ケア #G-01-01-01-04
5. コミュニケーション能力 #G-01-01-01-05
6. チーム医療の実践 #G-01-01-01-06
7. 医療の質と安全管理 #G-01-01-01-07
8. 社会における医療の実践 #G-01-01-01-08
9. 科学的探究 #G-01-01-01-09
10. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 #G-01-01-01-10

##### ■G-01-01-02. 診療の基本（F 参照）

1. 「F 診療の基本」の内容を基盤として、臨床の現場で研鑽を積む。#G-01-01-02-01

##### ■G-01-01-03. 学生を信頼し任せられる役割

1. 病歴を聴取して身体診察を行う。#G-01-01-03-01
2. 鑑別診断を想定する。#G-01-01-03-02
3. 基本的な検査の結果を解釈する。#G-01-01-03-03
4. 処方計画する。#G-01-01-03-04
5. 診療録（カルテ）を記載する。#G-01-01-03-05
6. 患者の状況について口頭でプレゼンテーションする。#G-01-01-03-06
7. 臨床上的問題を明確にしてエビデンスを収集する。#G-01-01-03-07
8. 患者さんの申し送りを行う・受け取る。#G-01-01-03-08

9. 多職種のチームで協働する。 #G-01-01-03-09
10. 緊急性の高い患者さんの初期対応を行う。 #G-01-01-03-10
11. インフォームド・コンセントを得る。 #G-01-01-03-11
12. 基本的臨床手技を実施する。 #G-01-01-03-12
13. 組織上の問題の同定と改善を通して医療安全に貢献する。 #G-01-01-03-13

## G-02. 臨床推論

### G-02-01. 発熱

1. 感染症：肺炎 #G-02-01-na-01
2. 感染症：結核 #G-02-01-na-02
3. 感染症：尿路感染症 #G-02-01-na-03
4. 腫瘍：悪性リンパ腫 #G-02-01-na-04
5. 腫瘍：腎細胞癌 #G-02-01-na-05
6. 自己免疫：全身性エリテマトーデス #G-02-01-na-06
7. 自己免疫：炎症性腸疾患 #G-02-01-na-07
8. 環境：熱中症 #G-02-01-na-08

### G-02-02. 全身倦怠感

1. 感染症・炎症性：結核 #G-02-02-na-01
2. 感染症・炎症性：肝炎 #G-02-02-na-02
3. 精神：うつ病 #G-02-02-na-03
4. 精神：双極性障害 #G-02-02-na-04
5. 中毒性：アルコール依存症 #G-02-02-na-05
6. 中毒性：薬物依存症 #G-02-02-na-06
7. 内分泌・代謝：甲状腺機能亢進症 #G-02-02-na-07
8. 内分泌・代謝：甲状腺機能低下症 #G-02-02-na-08
9. 内分泌・代謝：更年期障害 #G-02-02-na-09
10. 腫瘍：悪性腫瘍全般 #G-02-02-na-10

### G-02-03. 食思(欲)不振

1. 腫瘍：悪性腫瘍全般 #G-02-03-na-01
2. 消化器：機能性ディスぺプシア #G-02-03-na-02
3. 呼吸器：慢性閉塞性肺疾患 #G-02-03-na-03
4. 循環器：心不全 #G-02-03-na-04
5. 精神：うつ病 #G-02-03-na-05

#### G-02-04. 体重増加・体重減少

1. (体重増加) 急性：心不全 #G-02-04-na-01
2. (体重増加) 急性：ネフローゼ症候群 #G-02-04-na-02
3. (体重増加) 慢性：甲状腺機能低下症 #G-02-04-na-03
4. (体重減少) 腫瘍：悪性腫瘍全般 #G-02-04-na-04
5. (体重減少) 内分泌：糖尿病 #G-02-04-na-05
6. (体重減少) 内分泌：甲状腺機能亢進症 #G-02-04-na-06
7. (体重減少) 精神：うつ病 #G-02-04-na-07
8. (体重減少) 感染症：結核 #G-02-04-na-08
9. (体重減少) 自己免疫：炎症性腸疾患 #G-02-04-na-09
10. (体重減少) 消化器：慢性膵炎 #G-02-04-na-10
11. (体重減少) 中毒：アルコール依存症 #G-02-04-na-11

#### G-02-05. ショック

1. 循環血液量減少性：急性消化管出血 #G-02-05-na-01
2. 循環血液量減少性：大動脈瘤破裂 #G-02-05-na-02
3. 循環血液量減少性：熱傷 #G-02-05-na-03
4. 心原性：急性心筋梗塞 #G-02-05-na-04
5. 心原性：心筋炎 #G-02-05-na-05
6. 閉塞性：緊張性気胸 #G-02-05-na-06
7. 閉塞性：肺塞栓症 #G-02-05-na-07
8. 血液分布異常性：敗血症 #G-02-05-na-08
9. 血液分布異常性：急性膵炎 #G-02-05-na-09
10. 血液分布異常性：アナフィラキシー #G-02-05-na-10
11. 血液分布異常性：脊髄損傷 #G-02-05-na-11

#### G-02-06. 心停止

1. 心血管：急性心筋梗塞 #G-02-06-na-01
2. 心血管：急性大動脈解離 #G-02-06-na-02
3. 心血管：大動脈瘤破裂 #G-02-06-na-03
4. 呼吸器：緊張性気胸 #G-02-06-na-04
5. 呼吸器：外傷性気胸 #G-02-06-na-05
6. 神経原性：くも膜下出血 #G-02-06-na-06
7. 神経原性：頭部外傷 #G-02-06-na-07
8. 神経原性：脊髄損傷 #G-02-06-na-08
9. 自己免疫：アナフィラキシー #G-02-06-na-09
10. 環境：熱中症 #G-02-06-na-10

11. 環境：寒冷による障害 #G-02-06-na-11

#### G-02-07. 意識障害・失神

1. 脳原発性：くも膜下出血 #G-02-07-na-01
2. 脳原発性：頭蓋内血腫 #G-02-07-na-02
3. 脳原発性：脳炎 #G-02-07-na-03
4. 全身性：心筋梗塞 #G-02-07-na-04
5. 全身性：不整脈 #G-02-07-na-05
6. 全身性：肺塞栓症 #G-02-07-na-06
7. 全身性：てんかん #G-02-07-na-07
8. 全身性：急性消化管出血 #G-02-07-na-08
9. 全身性：肝不全 #G-02-07-na-09

#### G-02-08. けいれん

1. 脳血管障害：脳梗塞 #G-02-08-na-01
2. 中毒：薬物依存症 #G-02-08-na-02
3. 中毒：アルコール依存症 #G-02-08-na-03
4. 感染症：脳炎 #G-02-08-na-04
5. 感染症：脳症 #G-02-08-na-05
6. 感染症：熱性けいれん #G-02-08-na-06

#### G-02-09. めまい

1. 末梢性：良性発作性頭位めまい症 #G-02-09-na-01
2. 中枢性：脳出血 #G-02-09-na-02
3. 中枢性：脳梗塞 #G-02-09-na-03
4. 失神性：不整脈 #G-02-09-na-04
5. 失神性：肺塞栓症 #G-02-09-na-05
6. 失神性：弁膜症 #G-02-09-na-06
7. 心因性：パニック障害 #G-02-09-na-07

#### G-02-10. 脱水

1. 消化器：急性消化管出血 #G-02-10-na-01
2. 消化器：乳児下痢症 #G-02-10-na-02
3. 消化器：急性膵炎 #G-02-10-na-03
4. 内分泌・代謝：糖尿病 #G-02-10-na-04
5. 環境：熱中症 #G-02-10-na-05
6. 環境：熱傷 #G-02-10-na-06

#### G-02-11. 浮腫

1. 局所性：深部静脈血栓症 #G-02-11-na-01
2. 全身性：心不全 #G-02-11-na-02
3. 全身性：ネフローゼ症候群 #G-02-11-na-03
4. 全身性：慢性腎臓病 #G-02-11-na-04
5. 全身性：肝硬変 #G-02-11-na-05
6. 全身性：甲状腺機能低下症 #G-02-11-na-06

#### G-02-12. 発疹

1. 感染症：ウイルス性発疹症（麻疹） #G-02-12-na-01
2. 感染症：ウイルス性発疹症（風疹） #G-02-12-na-02
3. 感染症：ウイルス性発疹症（水痘） #G-02-12-na-03
4. 感染症：ウイルス性発疹症（ヘルペス） #G-02-12-na-04
5. アレルギー、自己免疫：蕁麻疹 #G-02-12-na-05
6. アレルギー、自己免疫：薬疹 #G-02-12-na-06
7. アレルギー、自己免疫：全身性エリテマトーデス #G-02-12-na-07

#### G-02-13. 咳・痰

1. 感染症：気管支炎 #G-02-13-na-01
2. 感染症：肺炎 #G-02-13-na-02
3. 感染症：副鼻腔炎 #G-02-13-na-03
4. 腫瘍：肺癌 #G-02-13-na-04
5. 特発性：間質性肺疾患 #G-02-13-na-05
6. 自己免疫：気管支喘息 #G-02-13-na-06
7. 消化器：胃食道逆流症 #G-02-13-na-07

#### G-02-14. 血痰・喀血

1. 呼吸器：肺結核 #G-02-14-na-01
2. 呼吸器：肺癌 #G-02-14-na-02
3. 心血管系：僧帽弁膜症 #G-02-14-na-03
4. 心血管系：心不全 #G-02-14-na-04
5. 出血傾向：白血病 #G-02-14-na-05
6. 出血傾向：播種性血管内凝固 #G-02-14-na-06

#### G-02-15. 呼吸困難

1. 呼吸器：肺塞栓症 #G-02-15-na-01

2. 呼吸器：急性呼吸促 (窮) 迫症候群 #G-02-15-na-02
3. 呼吸器：気管支喘息 #G-02-15-na-03
4. 呼吸器：慢性閉塞性肺疾患 #G-02-15-na-04
5. 呼吸器：緊張性気胸 #G-02-15-na-05
6. 循環器：心不全 #G-02-15-na-06
7. 心因性：パニック障害 #G-02-15-na-07
8. 心因性：過換気症候群 #G-02-15-na-08

#### G-02-16. 胸痛

1. 呼吸器：肺塞栓症 #G-02-16-na-01
2. 呼吸器：気胸 #G-02-16-na-02
3. 循環器：急性冠症候群 #G-02-16-na-03
4. 消化器：胃食道逆流症 #G-02-16-na-04
5. 心因性：パニック障害 #G-02-16-na-05

#### G-02-17. 動悸

1. 循環器：不整脈 #G-02-17-na-01
2. 二次性：甲状腺機能亢進症 #G-02-17-na-02
3. 心因性：パニック障害 #G-02-17-na-03

#### G-02-18. 胸水

1. 循環器：心不全 #G-02-18-na-01
2. 呼吸器：肺炎 #G-02-18-na-02
3. 呼吸器：肺結核 #G-02-18-na-03
4. 呼吸器：肺癌 #G-02-18-na-04
5. 消化器：肝硬変 #G-02-18-na-05
6. 消化器：急性膵炎 #G-02-18-na-06
7. 自己免疫：関節リウマチ #G-02-18-na-07
8. 自己免疫：全身性エリテマトーデス #G-02-18-na-08
9. 腎・泌尿器：ネフローゼ症候群 #G-02-18-na-09

#### G-02-19. 嚥下困難・障害

1. 神経：脳出血 #G-02-19-na-01
2. 神経：脳梗塞 #G-02-19-na-02
3. 呼吸器：扁桃炎 #G-02-19-na-03
4. 呼吸器：肺癌 #G-02-19-na-04
5. 消化器：胃食道逆流症 #G-02-19-na-05
6. 消化器：食道癌 #G-02-19-na-06

7. 心因性：身体症状症 #G-02-19-na-07

#### G-02-20. 腹痛

1. 消化器：機能性ディスペプシア #G-02-20-na-01
2. 消化器：過敏性腸症候群 #G-02-20-na-02
3. 消化器：炎症性腸疾患 #G-02-20-na-03
4. 消化器：消化性潰瘍 #G-02-20-na-04
5. 消化器：急性虫垂炎 #G-02-20-na-05
6. 消化器：胆石症 #G-02-20-na-06
7. 消化器：急性膵炎 #G-02-20-na-07
8. 消化器：腸閉塞 #G-02-20-na-08
9. 消化器：鼠径ヘルニア #G-02-20-na-09
10. 泌尿・生殖器：尿路結石 #G-02-20-na-10
11. 泌尿・生殖器：流・早産 #G-02-20-na-11
12. 循環器：急性冠症候群 #G-02-20-na-12
13. 心因性：身体症状症 #G-02-20-na-13

#### G-02-21. 悪心・嘔吐

1. 消化管：機能性ディスペプシア #G-02-21-na-01
2. 消化管：腸閉塞 #G-02-21-na-02
3. 消化管：食中毒 #G-02-21-na-03
4. 循環器：急性心筋梗塞 #G-02-21-na-04
5. 神経：片頭痛 #G-02-21-na-05
6. 神経：脳出血 #G-02-21-na-06
7. 神経：くも膜下出血 #G-02-21-na-07
8. 神経：頭蓋内血腫 #G-02-21-na-08
9. 精神：うつ病 #G-02-21-na-09

#### G-02-22. 吐血・下血

1. (吐血) 食道：食道静脈瘤 #G-02-22-na-01
2. (吐血) 食道：食道癌 #G-02-22-na-02
3. (吐血) 胃：消化性潰瘍 #G-02-22-na-03
4. (吐血) 胃：胃癌 #G-02-22-na-04
5. (下血) 上部消化管：食道静脈瘤 #G-02-22-na-05
6. (下血) 上部消化管：消化性潰瘍 #G-02-22-na-06
7. (下血) 下部消化管：炎症性腸疾患 #G-02-22-na-07
8. (下血) 下部消化管：大腸癌 #G-02-22-na-08



#### G-02-23. 便秘・下痢

1. (便秘) 機能性：過敏性腸症候群 #G-02-23-na-01
2. (便秘) 機能性：甲状腺機能低下症 #G-02-23-na-02
3. (便秘) 器質性：腸閉塞 #G-02-23-na-03
4. (便秘) 器質性：大腸癌 #G-02-23-na-04
5. (下痢) 炎症性：急性胃腸炎 #G-02-23-na-05
6. (下痢) 炎症性：炎症性腸疾患 #G-02-23-na-06
7. (下痢) 腸管運動異常：過敏性腸症候群 #G-02-23-na-07
8. (下痢) 腸管運動異常：甲状腺機能亢進症 #G-02-23-na-08
9. (下痢) 浸透圧性：慢性膀胱炎 #G-02-23-na-09

#### G-02-24. 黄疸

1. 抱合型：急性肝炎 #G-02-24-na-01
2. 抱合型：慢性肝炎 #G-02-24-na-02
3. 抱合型：肝硬変 #G-02-24-na-03
4. 抱合型：胆管炎 #G-02-24-na-04
5. 抱合型：膀胱癌 #G-02-24-na-05
6. 非抱合型：溶血性貧血 #G-02-24-na-06

#### G-02-25. 腹部膨隆（腹水を含む）・腫瘍

1. 消化管：腸閉塞 #G-02-25-na-01
2. 消化管：大腸癌 #G-02-25-na-02
3. 腹水：肝硬変 #G-02-25-na-03
4. 腹水：ネフローゼ症候群 #G-02-25-na-04
5. 腹水：心不全 #G-02-25-na-05
6. 腫瘍：肝癌 #G-02-25-na-06
7. 腫瘍：卵巢嚢腫 #G-02-25-na-07

#### G-02-26. 貧血

1. 鉄欠乏性貧血：消化性潰瘍 #G-02-26-na-01
2. 鉄欠乏性貧血：痔核 #G-02-26-na-02
3. 鉄欠乏性貧血：子宮筋腫 #G-02-26-na-03
4. 造血器腫瘍：白血病 #G-02-26-na-04
5. 造血器腫瘍：骨髓腫 #G-02-26-na-05
6. 二次性貧血：肝硬変 #G-02-26-na-06
7. 二次性貧血：慢性腎臓病 #G-02-26-na-07
8. 二次性貧血：アルコール依存症 #G-02-26-na-08

#### G-02-27. リンパ節腫脹

1. 感染症：ウイルス性発疹症（風疹） #G-02-27-na-01
2. 感染症：ウイルス性発疹症（麻疹） #G-02-27-na-02
3. 感染症：結核 #G-02-27-na-03
4. 自己免疫：全身性エリテマトーデス #G-02-27-na-04
5. 腫瘍：悪性リンパ腫 #G-02-27-na-05
6. 腫瘍：その他の悪性腫瘍全般 #G-02-27-na-06

#### G-02-28. 尿量・排尿の異常

1. (多尿)：浸透圧利尿：糖尿病 #G-02-28-na-01
2. (多尿)：中毒：薬剤性 #G-02-28-na-02
3. (頻尿) 畜尿障害：尿路感染症 #G-02-28-na-03
4. (頻尿) 畜尿障害：脊髄損傷 #G-02-28-na-04
5. (頻尿) 排出困難（排出障害）：前立腺肥大症 #G-02-28-na-05
6. (頻尿) 排出困難（排出障害）：尿路感染症 #G-02-28-na-06
7. (頻尿) 排出困難（排出障害）：前立腺癌 #G-02-28-na-07

#### G-02-29. 血尿・タンパク尿

1. 腎臓：糸球体腎炎症候群 #G-02-29-na-01
2. 腎臓：ネフローゼ症候群 #G-02-29-na-02
3. 腎臓：糖尿病腎症 #G-02-29-na-03
4. 腎臓：腎細胞癌 #G-02-29-na-04
5. 尿管、膀胱：尿路結石 #G-02-29-na-05
6. 尿管、膀胱：尿路感染症 #G-02-29-na-06
7. 尿管、膀胱：膀胱癌 #G-02-29-na-07

#### G-02-30. 月経異常

1. 無月経：妊娠 #G-02-30-na-01
2. 月経困難：月経困難症 #G-02-30-na-02
3. 月経困難：子宮内膜症 #G-02-30-na-03
4. 不正性器出血：子宮頸癌 #G-02-30-na-04
5. 不正性器出血：子宮体癌 #G-02-30-na-05

#### G-02-31. 不安・抑うつ

1. 一次性：うつ病 #G-02-31-na-01
2. 一次性：双極性障害 #G-02-31-na-02

3. 一次性：不安障害 #G-02-31-na-03
4. 二次性（不安障害）：甲状腺機能亢進症 #G-02-31-na-04
5. 二次性（不安障害）：悪性腫瘍全般 #G-02-31-na-05
6. 二次性（うつ病）：甲状腺機能低下症 #G-02-31-na-06
7. 二次性（うつ病）：認知症 #G-02-31-na-07
8. 二次性（うつ病）：Parkinson 病 #G-02-31-na-08
9. 二次性（うつ病）：悪性腫瘍全般 #G-02-31-na-09

#### G-02-32. もの忘れ

1. 血管：脳梗塞 #G-02-32-na-01
2. 変性：認知症 #G-02-32-na-02
3. 変性：Parkinson 病 #G-02-32-na-03
4. 精神：うつ病 #G-02-32-na-04

#### G-02-33. 頭痛

1. 機能性：緊張型頭痛 #G-02-33-na-01
2. 機能性：片頭痛 #G-02-33-na-02
3. 症候性：髄膜炎 #G-02-33-na-03
4. 症候性：脳出血 #G-02-33-na-04
5. 症候性：くも膜下出血 #G-02-33-na-05
6. 症候性：緑内障 #G-02-33-na-06
7. 症候性：急性副鼻腔炎 #G-02-33-na-07

#### G-02-34. 運動麻痺・筋力低下

1. 脳病変：脳梗塞 #G-02-34-na-01
2. 脳病変：一過性脳虚血発作 #G-02-34-na-02
3. 脳病変：脳出血 #G-02-34-na-03
4. 脳病変：頭蓋内血腫 #G-02-34-na-04
5. 脊髄病変：脊髄損傷 #G-02-34-na-05
6. 脊髄病変：椎間板ヘルニア #G-02-34-na-06
7. 末梢神経病変：糖尿病 #G-02-34-na-07
8. 神経筋接合部病変：肺癌 #G-02-34-na-08
9. 筋病変：甲状腺機能亢進症 #G-02-34-na-09
10. 筋病変：アルコール性中毒 #G-02-34-na-10

#### G-02-35. 腰背部痛

1. 呼吸器：肺癌 #G-02-35-na-01
2. 心血管：急性大動脈解離 #G-02-35-na-02

3. 消化器：胆石症 #G-02-35-na-03
4. 泌尿・生殖器：尿管結石 #G-02-35-na-04
5. 泌尿・生殖器：腎細胞癌 #G-02-35-na-05
6. 脊椎：椎間板ヘルニア #G-02-35-na-06
7. 脊椎：変形性脊椎症 #G-02-35-na-07
8. 脊椎：脊柱管狭窄症 #G-02-35-na-08
9. 脊椎：脊椎圧迫骨折 #G-02-35-na-09
10. 脊椎：骨髄腫 #G-02-35-na-10

#### G-02-36. 関節痛・関節腫脹

1. 単関節炎：痛風 #G-02-36-na-01
2. 多発関節炎：関節リウマチ #G-02-36-na-02
3. 多発関節炎：全身性エリテマトーデス #G-02-36-na-03

#### G-02-37. 外傷・熱傷

1. 一次性：頭部外傷 #G-02-37-na-01
2. 一次性：骨折 #G-02-37-na-02
3. 一次性：外傷性気胸 #G-02-37-na-03
4. 一次性：脊髄損傷 #G-02-37-na-04
5. 一次性：熱傷 #G-02-37-na-05
6. 二次性：急性大動脈解離 #G-02-37-na-06
7. 二次性：脳出血 #G-02-37-na-07
8. 二次性：くも膜下出血 #G-02-37-na-08
9. 二次性：頭蓋内血腫 #G-02-37-na-09

### G-03. 基本的臨床手技

#### G-03-01. 一般手技

1. 体位交換、移送ができる。#G-03-01-na-01
2. 皮膚消毒ができる。#G-03-01-na-02
3. 外用薬の貼付・塗布ができる。#G-03-01-na-03
4. 気道内吸引、ネブライザーを実施できる。#G-03-01-na-04
5. 静脈採血を実施できる。#G-03-01-na-05
6. 末梢静脈の血管確保を実施できる。#G-03-01-na-06
7. 中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。#G-03-01-na-07
8. 動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助する。#G-03-01-na-08
9. 腰椎穿刺を見学し、介助する。#G-03-01-na-09
10. 胃管の挿入と抜去ができる。#G-03-01-na-10

11. 尿道カテーテルの挿入と抜去を実施できる。#G-03-01-na-11
12. ドレーンの挿入と抜去を見学し、介助する。#G-03-01-na-12
13. 注射（皮内、皮下、筋肉、静脈内）を実施できる。#G-03-01-na-13
14. 全身麻酔、局所麻酔、輸血を見学し、介助する。#G-03-01-na-14
15. 眼球に直接触れる治療を見学し、介助する。#G-03-01-na-15
16. 診療録（カルテ）を作成する。#G-03-01-na-16
17. 各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。#G-03-01-na-17

#### G-03-02. 検査手技

1. 尿検査（尿沈渣を含む）を実施できる。#G-03-02-na-01
2. 末梢血塗抹標本を作成し、観察できる。#G-03-02-na-02
3. 微生物学検査（Gram 染色を含む）を実施できる。#G-03-02-na-03
4. 妊娠反応検査を実施できる。#G-03-02-na-04
5. 血液型判定を実施できる。#G-03-02-na-05
6. 視力、視野、聴力、平衡機能検査を実施できる。#G-03-02-na-06
7. 12 誘導心電図を記録できる。#G-03-02-na-07
8. 脳波検査の記録ができる。#G-03-02-na-08
9. 眼球に直接触れる検査を見学し、介助する。#G-03-02-na-09
10. 心臓、腹部の超音波検査を実施できる。#G-03-02-na-10
11. 経皮的酸素飽和度を測定できる。#G-03-02-na-11
12. エックス線撮影、コンピュータ断層撮影、磁気共鳴画像法、核医学検査、内視鏡検査を見学し、介助する。#G-03-02-na-12

#### G-03-03. 外科手技

1. 無菌操作を実施できる。#G-03-03-na-01
2. 手術や手技のための手洗いができる。#G-03-03-na-02
3. 手術室におけるガウンテクニックができる。#G-03-03-na-03
4. 基本的な縫合と抜糸ができる。#G-03-03-na-04
5. 創の消毒やガーゼ交換ができる。#G-03-03-na-05
6. 手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助する。#G-03-03-na-06

#### G-03-04. 救命処置

1. 身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。#G-03-04-na-01
2. 一次救命処置を実施できる。#G-03-04-na-02
3. 二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。#G-03-04-na-03

## G-04. 診療科臨床実習

### G-04-01. 必ず経験すべき診療科

#### ■G-04-01-01. 内科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-01-01-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-01-01-02
3. 内科的治療の立案・実施に可能な範囲で参加する。#G-04-01-01-03
4. 複数の臓器にまたがる問題を統合する視点を獲得する。#G-04-01-01-04
5. 基本的な内科的診察技能について学ぶ。#G-04-01-01-05
6. どのように内科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-01-01-06

#### ■G-04-01-02. 外科

1. 外科的治療の適応を知る。#G-04-01-02-01
2. 手術計画の立案に可能な範囲で参加する。#G-04-01-02-02
3. 周術期管理に可能な範囲で参加する。#G-04-01-02-03
4. 手術等の外科的治療に可能な範囲で参加する。#G-04-01-02-04
5. 基本的な外科的手技について学ぶ。#G-04-01-02-05
6. どのように外科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-01-02-06

#### ■G-04-01-03. 小児科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-01-03-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-01-03-02
3. 治療の立案・実施に可能な範囲で参加する。#G-04-01-03-03
4. 保護者から必要な情報を得たり対応したりすることに可能な範囲で参加する。#G-04-01-03-04
5. 小児の成長・発達の評価に可能な範囲で参加する。#G-04-01-03-05
6. 基本的な小児科診察技能について学ぶ。#G-04-01-03-06
7. どのように小児科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-01-03-07

#### ■G-04-01-04. 産婦人科

1. 妊婦の周産期診察及び分娩に可能な範囲で参加する。#G-04-01-04-01
2. 女性の健康問題に関する理解を深める。#G-04-01-04-02
3. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-01-04-03
4. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-01-04-04
5. 手術を含めた婦人科的治療に可能な範囲で参加する。#G-04-01-04-05

6. 基本的な婦人科診察技能について学ぶ。#G-04-01-04-06
7. どのように産婦人科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-01-04-07

#### ■G-04-01-05. 精神科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-01-05-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-01-05-02
3. 精神科的治療に可能な範囲で参加する。#G-04-01-05-03
4. 基本的な精神科面接技法について学ぶ。#G-04-01-05-04
5. どのように精神科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-01-05-05

#### ■G-04-01-06. 総合診療科

1. 病歴・身体診察を重視した診断推論（診断がつかない場合を含む）を組み立てる、又はたどる。#G-04-01-06-01
2. 健康問題に対する包括的アプローチ（複数の健康問題の相互作用等）を体験する。#G-04-01-06-02
3. 家族や地域といった視点を持ち、心理・社会的背景により配慮した診療に可能な範囲で参加する。  
#G-04-01-06-03
4. 在宅医療を体験する。#G-04-01-06-04
5. 多職種連携を体験してその重要性を認識する。#G-04-01-06-05
6. 臨床現場において、保健・医療・福祉・介護に関する制度に触れる。#G-04-01-06-06

#### ■G-04-01-07. 救急科

1. 呼吸、循環を安定化するための初期治療を学ぶ。#G-04-01-07-01
2. 症候をベースとした診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-01-07-02
3. チーム医療の一員として良好なコミュニケーションを実践できる。#G-04-01-07-03
4. 家族や地域といった視点を持ち、保健・医療・福祉・介護との連携を学ぶ。#G-04-01-07-04
5. 救急隊員との連携を通じて、病院前救護体制とメディカルコントロールについて学ぶ。#G-04-01-07-05
6. 地域の災害医療体制について学ぶ。#G-04-01-07-06

#### G-04-02. 上記以外の診療科

##### ■G-04-02-01. 皮膚科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-01-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-01-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-01-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-01-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-01-05

■G-04-02-02. 整形外科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-02-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-02-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-02-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-02-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-02-05

■G-04-02-03. 眼科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-03-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-03-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-03-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-03-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-03-05

■G-04-02-04. 耳鼻咽喉科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-04-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-04-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-04-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-04-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-04-05

■G-04-02-05. 泌尿器科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-05-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-05-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-05-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-05-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-05-05

■G-04-02-06. 脳神経外科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-06-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-06-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-06-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-06-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-06-05



■G-04-02-07. 放射線科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-07-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-07-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-07-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-07-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-07-05

■G-04-02-08. 麻酔科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-08-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-08-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-08-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-08-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-08-05

■G-04-02-09. 病理診断科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-09-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-09-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-09-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-09-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-09-05

■G-04-02-10. 臨床検査科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-10-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-10-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-10-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-10-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-10-05

■G-04-02-11. 形成外科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-11-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-11-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-11-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-11-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-11-05

■G-04-02-13. リハビリテーション科

1. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-13-01
2. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-13-02
3. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-13-03
4. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-13-04

■G-04-02-14. 歯科口腔外科

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-14-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-14-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-14-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-14-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-14-05

■G-04-02-15. その他

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-15-01
2. 疾患の病態や疫学を理解する。#G-04-02-15-02
3. 該当診療科の治療に可能な範囲で参加する。#G-04-02-15-03
4. 該当診療科の基本的な診察技能について学ぶ。#G-04-02-15-04
5. どのように該当診療科にコンサルテーションすればよいかわかる。#G-04-02-15-05

G-04-02. 上記以外の診療科:

■G-04-02-12. nan

1. 主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。#G-04-02-12-01

G-04-03. 地域医療実習

1. これ以下は教育方略 #G-04-03-na-01
2. 学外の臨床研修病院等の地域病院や診療所、さらに保健所や社会福祉施設等の協力を得る。#G-04-03-na-02
3. 必要に応じて臨床教授制度等を利用する。#G-04-03-na-03
4. 早期臨床体験実習を拡充し、低学年から継続的に地域医療の現場に接する機会を設ける。#G-04-03-na-04
5. 衛生学・公衆衛生学実習等と連携し、社会医学的（主に量的）な視点から地域を診る学習機会を作る。  
#G-04-03-na-05

6. 人類学・社会学・心理学・哲学・教育学等と連携し、行動科学・社会科学的（主に質的）な視点から地域における生活の中での医療を知り体験する学習機会を作る。#G-04-03-na-06

#### G-04-04. シミュレーション教育

1. シミュレータを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。#G-04-04-na-01
2. 模擬患者の協力を得て、臨床技能（コミュニケーションスキルを含む）や医療者に求められる態度を身に付ける。#G-04-04-na-02
3. シナリオを用いたトレーニングを通して、状況判断、意思決定能力を獲得する。#G-04-04-na-03
4. チームトレーニングによって、チーム医療の実践能力を高める。#G-04-04-na-04
5. 振り返りによって自己省察能力を高める。#G-04-04-na-05